令和6年度

街路整備事業

丸山楢原線道路改良工事

仕様書

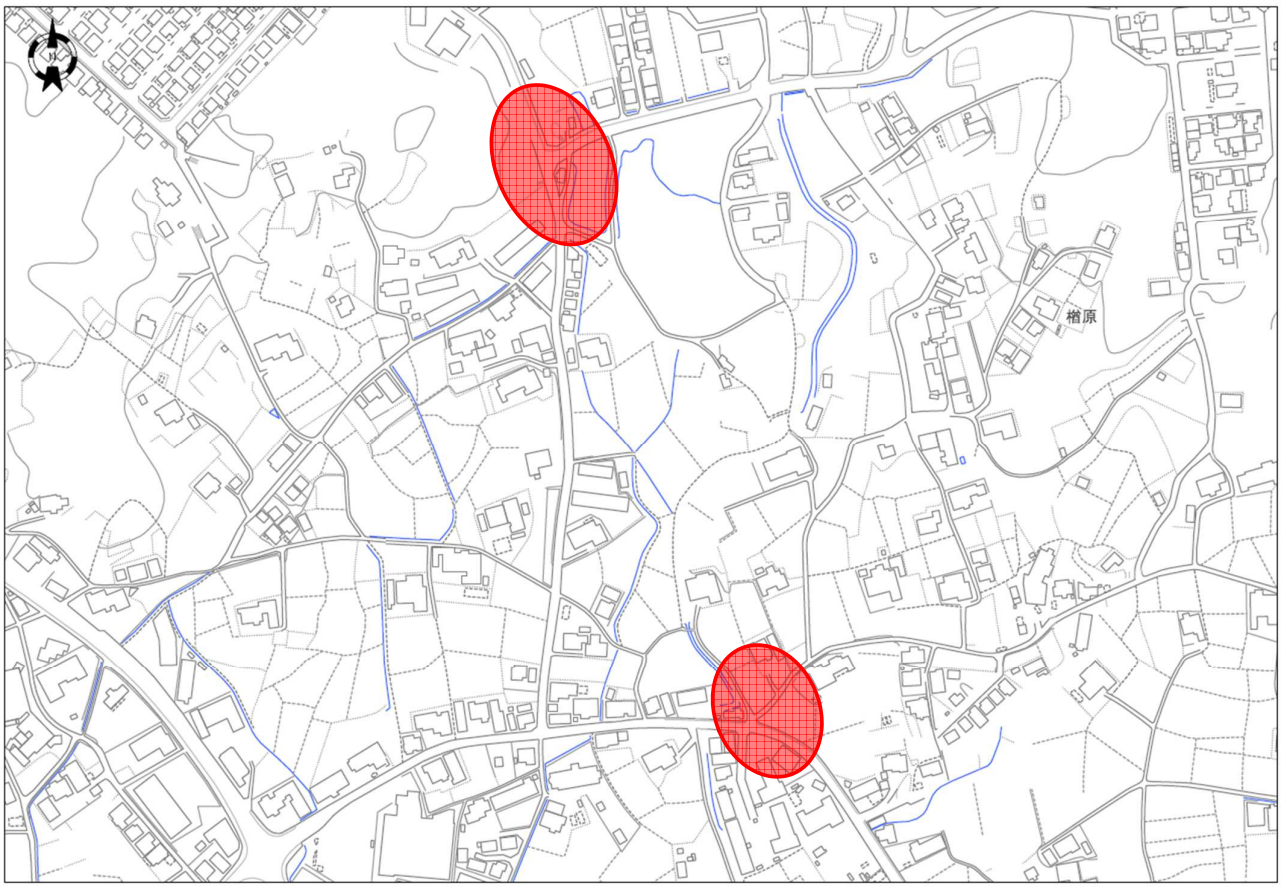
施　工　場　所　　東広島市黒瀬町楢原

東広島市

位置図（広域）

楢原
176
黒瀬楢原西（一）
瀬春日野（一）
191
240
兼広
181-7
砂池
切田
丸山
保光
164-3
文化センター
松ケ瀬橋
162
上保田
158
菅田
156
川角
161
田津原

位置図（詳細）


楢原

特　記　仕　様　書

（丸山楢原線道路改良工事）

第1章　総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 工事中情報共有システム（発注者指定型）
7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
8. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
9. 法定外の労災保険の付保
10. 週休２日適用工事等
11. 建設副産物の取り扱いについて
12. 週報

第2章　工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 指定資材

第3章　施工条件

1. 工程
   (1) 関係機関との協議
   (2) 道路の供用
2. 安全対策
   (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
   (2) 架空線の防護管に要する費用について
3. 盛土・埋戻土
   (1) 流用土(工事内流用)
4. 建設副産物
   (1) 建設発生土(搬出)　(建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地
   (2) コンクリート殻（無筋）(搬出)
   (3) アスファルト殻(搬出)
5. その他
   (1) 支給・貸与品

第4章　施工管理

1. 出来形管理
   (1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

第5章　その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 諸経費の計算

特　記　仕　様　書

第1章　総則

1.　適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和６年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

(1)　「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。(ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。)

(2)　「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。

(3)　「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。

(4)　「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。

(5)　「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。

(6)　「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。

(7)　「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。

(8)　「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。

(9)　「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。

(10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。

(11)　「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。

(12)　「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見　出　し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2.　前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあっては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

・建設工事請負代金前金払実施要領
・建設工事請負代金中間前金払実施要領
・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3.　現場代理人の兼務

1　現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

2　発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人

の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。

3　発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。

⑴ 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき

⑵ 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第６号)第１条第１項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき

⑶ 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき

⑷ 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき

⑸ 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき

⑹ その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき

4　重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4.　現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の28日前までに作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和６年８月）広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5.　履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月７日までに提出すること。

6.　工事中情報共有システム（発注者指定型）

（１）本工事は、工事中情報共有システムの対象（発注者指定型）である。

（２）工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。

（３）本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人　広島県土木協会）

http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html

（４）工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。

（５）利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。

（６）運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

１）「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。

２）「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。

３）「4.検査」は適用しない。

４）検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。

５）受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

7.　熱中症対策に資する現場管理費の補正

（１）　本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

（２）　工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

（３）　真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。

ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数　(WBGT) を対象

とする。
（４） 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
（５） 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
（６） 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
（７） 積算方法は次のとおりとする。
１）補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
２）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
（８） 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
（９） 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

8. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

9. 法定外の労災保険の付保
１ 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
２ 受注者は、建設工事請負契約約款第４７条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
３ 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

10. 週休２日適用工事等
本工事は、週休２日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休２日適用工事等実施要領（最新版）」又は「東広島市週休２日適用工事等実施要領（農林工事）（最新版）」に従うこと。
なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休２日適用工事等の実施について」に掲載している。

11. 建設副産物の取り扱いについて
本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。
１ 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（５の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
２ 計画の掲示及び公表
受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
３ 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。
４ 工事現場の管理体制
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計

画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m3以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

9　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11　受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12　受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

13　建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合

(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合

(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード

(4) ９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

12. 週報

週の終わりに、今週の施工実績と翌週の予定（立会等も含む）を記載した週報を提出し、適切に工程を管理すること。なお、提出は電子メールでも可とし、提出部数は1部とする。

第2章　工事材料

1.　見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	ＪＩＳ製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2.　品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	ＪＩＳ製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

3.　指定資材

総合評価落札方式適用工事における指定資材とは、下記のとおりとする。

・管渠型側溝
・アスファルト混合物

第3章　施工条件

1.　工程

(1) 関係機関との協議

協議内容　　バス路線の切替に3カ月必要なため、現道の迂回が必要な時は、工程を調整すること。
範囲　　楢原中央線

(2) 道路の供用

道路の供用を令和8年3月中旬までに行う必要があるため、現道の迂回の検討を含めて、工程を調整し、供用を行うこと。（令和8年度への繰越は不可）

2.　安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員　・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から287人を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

工　種	配置場所	配置人数	施工時間	備　考
丸山楢原線ほか	全区間	3人/日	昼間	
塔野原才野原線	全区間	1人/日	昼間	

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

3.　盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、　708m3(地山土量)　については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

4.　建設副産物

(1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)）

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更す

る場合がある。
　当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離
砂質土
（名称）　　黒瀬資源再利用センター株式会社
（所在地）　　東広島市黒瀬町大多田字大十田302-52
（運搬距離）　　5.6ｋｍ
(2) コンクリート殻（無筋）（搬出）
　当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。
　搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。
　また、運搬距離は　16.7ｋｍ　を見込んでいる。
(3) アスファルト殻(搬出)
　当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。
　搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。
　また、運搬距離は　16.7ｋｍ　を見込んでいる。

5.　その他
(1) 支給・貸与品
次のとおり支給品を使用すること。
品名　　1号街渠側溝
数量　　45本

第4章　施工管理
1.　出来形管理
(1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物
　本工事において、路面に天端が接する構造物の出来高管理は下記のとおり行うこと。なお、下記以外の項目については、広島県制定「土木工事施工管理基準(令和６年８月)」に基づいて実施しなければならない。

工　種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘　要
表層工	基準高さ▽	±30	40m毎に1箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。		
道路面に天端が接する構造物(コンクリートブロック工、コンクリート擁壁工、側溝工等)	基準高さ▽	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		

第5章　その他
1.　工事関係書類
⑴ 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。
⑵ 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2.　工事写真
　工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和６年８月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳と原本(電子媒体)を各1部提出する。

3.　疑義の解決等
　本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 諸経費の計算

本工事の諸経費の算出方法は下記のとおりとする。
（１）工事原価
ア　直接工事費
費目ごとに直接工事費を算定する。
イ　間接工事費
（ア）共通仮設費
ａ　共通仮設費の率分
　対象額は工事全体で算定する。
ｂ　共通仮設費率の補正
　工事全体で施工地域及び工事場所区分の補正を行う。ｃ　積上げ計算による部分
費目ごとに必要な経費を積み上げる。
（イ）現場管理費
ａ　現場管理費の算定対象とする純工事費は工事全体で算定する。
ｂ　現場管理費の率分
対象額は工事全体で算定する。
ｃ　現場管理費率の補正
工事全体で施工時期、工事期間、施工地域区分の補正を行う。
（２）一般管理費等
ア　一般管理費等の算定
対象とする工事原価は（１）の計による。
※工事全体とは、道路改良工事（丸山楢原線ほか）及び道路改良工事（塔野原才野原線）である。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
道路改良工事（丸山楢原線ほか）					
道路改良		式		1	
道路土工		式		1	
掘削工		式		1	
掘削		m3		1,000	
路体盛土工		式		1	
路肩盛土	【W＜2.5m】	m3		1	
取付道盛土	【W≧4.0m】	m3		20	
路床盛土工		式		1	
路床盛土	【W＜2.5m】	m3		110	
路床盛土	【2.5m＜W≦4.0m】	m3		20	
路床盛土	【W≧4.0m】	m3		120	
歩道盛土	【W＜2.5m】	m3		2	
歩道盛土	【W≧4.0m】	m3		90	
法面整形工		式		1	
法面整形(切土部)		m2		1	
法面整形(盛土部)		m2		40	
防草コンクリート		式		1	

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
張りコンクリート	【σ=18N/mm2　t=7cm】	m2		96	
残土処理工		式		1	
土砂等運搬		m3		910	
残土等処分		m3		910	
擁壁工		式		1	
作業土工		式		1	
場所打擁壁工(構造物単位)		式		1	
小型擁壁	【0.8＜H≦1.0m】	m3		19	
重力式擁壁	GW15	m3		4	
打増擁壁		箇所		1	
土留工		m		2	
階段工		箇所		1	
排水構造物工		式		1	
作業土工		式		1	
側溝工		式		1	
1号U型側溝	【PU2-300-300】	m		56	
蓋版	コンクリート蓋　L=500	枚		102	
蓋版	グレーチング蓋　T-2　L=1000　細目	枚		5	

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
2号U型側溝	【300×1000】	m		23	
3号U型側溝	【300×300】	m		62	
蓋版	コンクリート蓋　L=500	枚		112	
蓋版	グレーチング蓋　T-14　L=1000　細目	枚		6	
1号街渠側溝	【300×300】	m		174	
場所打水路工	【300×300】	m		6	
自由勾配側溝	【B400-H900】	m		6	
管渠工		式		1	
重圧管	【φ300】	m		43	
重圧管	【φ600】	m		50	
暗渠排水管	【VUφ250】	m		8	
集水桝・マンホール工		式		1	
1号街渠桝	【300×400×2000】	箇所		9	
2号街渠桝	【500×500×600】	箇所		2	
1号集水桝	【500×500×600】	箇所		1	
2号集水桝	【900×900×1700】	箇所		1	
3号集水桝	【800×800×1800】	箇所		1	
4号集水桝	【800×800×1600】	箇所		1	

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
5号集水桝	【800×800×1300】	箇所		1	
6号集水桝	【800×800×1300】	箇所		1	
7号集水桝	【800×800×1300】	箇所		1	
8号集水桝	【800×800×1300】	箇所		1	
9号集水桝	【300×300×600】	箇所		1	
構造物撤去工		式		1	
防護柵撤去工		式		1	
防護柵撤去(ガードレール)		m		23	
防護柵撤去(ガードパイプ)		m		8	
構造物取壊し工		式		1	
コンクリート構造物取壊し		m3		105	
舗装版切断		式		1	
舗装版破砕		m2		3,090	
運搬処理工		式		1	
殻運搬	【コン殻】	m3		105	
殻処分	【コン殻】	t		248	
殻運搬	【アス殻】	m3		163	
殻処分	【アス殻】	t		383	

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
舗装工		式		1	
アスファルト舗装工		式		1	
不陸整正		m2		2,800	
下層路盤(車道・路肩部)	【RC-30　t=100cm】	m2		1,210	
下層路盤(車道・路肩部)	【RC-40　t=150cm】	m2		1,120	
下層路盤(歩道部)	【RC-30　t=100cm】	m2		40	
下層路盤(歩道部)	【RC-40　t=150cm】	m2		61	
上層路盤(車道・路肩部)	【RM-30　t=100cm】	m2		421	
上層路盤(車道・路肩部)	【RM-40　t=150cm】	m2		1,120	
基層(車道・路肩部)	【再生粗密度アスコン(20)　t=50mm】	m2		2,550	
表層(車道・路肩部)	【再生密粒度アスコン(20)　t=50mm】	m2		793	
表層(車道・路肩部)	【再生密粒度アスコン(20)　t=50mm】	m2		2,630	
表層(車道・路肩部)	【再生密粒度アスコン(20)　t=50mm】	m2		435	
表層(歩道部)	【再生細粒度アスコン(13)　t=30mm】	m2		101	
透水性舗装工		式		1	
フィルター層	【再生砂　t=50mm】	m2		650	
下層路盤(歩道部)	【RC-30　t=100mm】	m2		593	
下層路盤(歩道部)	【RC-40　t=150mm】	m2		59	

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
表層	【開粒度アスコン　t=40mm】	m2		629	
表層	【開粒度アスコン　t=50mm】	m2		59	
薄層カラー舗装工		式		1	
薄層カラー舗装	【RPN-501】	m2		19	
薄層カラー舗装	【RPN-301】	m2		112	
縁石工		式		1	
縁石工		式		1	
歩車道境界ブロック	【一般部】	m		202	
歩車道境界ブロック	【歩道接続部】	m		34	
歩車道境界ブロック	【車両乗入部】	m		31	
アスカーブ		m		19	
区画線工		式		1	
区画線工		式		1	
溶融式区画線	【実線_15cm】	m		590	
溶融式区画線	【実線_20cm】	m		160	
溶融式区画線	【破線_15cm】	m		15	
溶融式区画線	【破線_30cm】	m		13	
溶融式区画線	【矢印・記号・文字_15cm換算】	m		410	

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
溶融式区画線	【実線_45cm】	m		160	
溶融式区画線	【実線_45cm】	m		14	
溶融式区画線	【ゼブラ_45cm】	m		63	
溶融式区画線	【ゼブラ_45cm】	m		180	
防護柵工		式		1	
路側防護柵工		式		1	
ガードレール	【Gr-C-4E】	m		27	
防止柵工		式		1	
転落(横断)防止柵	【H=1100】	m		12	
遮蔽フェンス	【H=1800】	m		72	
仮設工		式		1	
交通管理工		式		1	
交通誘導警備員		人		270	
＊＊直接工事費＊＊					
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					

工事数量総括表

費目・工種明細など		規格1・規格2	単位		数量	備考
＊＊工事原価＊＊						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
＊＊工事価格＊＊						
＊＊消費税相当額＊＊						
＊＊工事費＊＊						

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
道路改良工事（塔野原才野原線）					
道路改良		式		1	
道路土工		式		1	
掘削工		式		1	
掘削		m3		110	
路体盛土工		式		1	
路外盛土	【W＞4.0m】	m3		2	
畦畔盛土	【W＜2.5m】	m3		7	
法面整形工		式		1	
法面整形(盛土部)		m2		20	
残土処理工		式		1	
土砂等運搬		m3		140	
残土等処分		m3		140	
法面工		式		1	
植生工		式		1	
植生シート		m2		20	
擁壁工		式		1	
作業土工		式		1	

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
場所打擁壁工(構造物単位)		式		1	
小型擁壁	【0.8＜H＜1.0m】	m3		1	
重力式擁壁	GW15	m3		16	
排水構造物工		式		1	
作業土工		式		1	
側溝工		式		1	
場所打水路工	【350×350】	m		2	
5号U型側溝	【300×300】	m		0.6	
6号U型側溝	【300×300　縦断用】	m		61	
7号U型側溝	【300×500】	m		6	
2号街渠側溝	【300×300】	m		7	
管渠工		式		1	
重圧管	【φ300】	m		4	
重圧管	【φ600】	m		8	
田面排水工		式		1	
田面排水ボックス		箇所		2	
集水桝・マンホール工		式		1	
10号集水桝	【500×500×600】	箇所		1	

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
11号集水桝	【1000×1000×1000】	箇所		1	
12号集水桝	【500×500×700】	箇所		1	
13号集水桝	【600×800×1000】	箇所		1	
14号集水桝	【300×600×500】	箇所		1	
構造物撤去工		式		1	
構造物取壊し工		式		1	
コンクリート構造物取壊し		m3		8	
舗装版切断		式		1	
舗装版破砕		m2		179	
運搬処理工		式		1	
殻運搬	【コン殻】	m3		8	
殻処分	【コン殻】	t		19	
殻運搬	【アス殻】	m3		9	
殻処分	【アス殻】	t		21	
舗装工		式		1	
舗装準備工		式		1	
不陸整正		m2		398	
アスファルト舗装工		式		1	

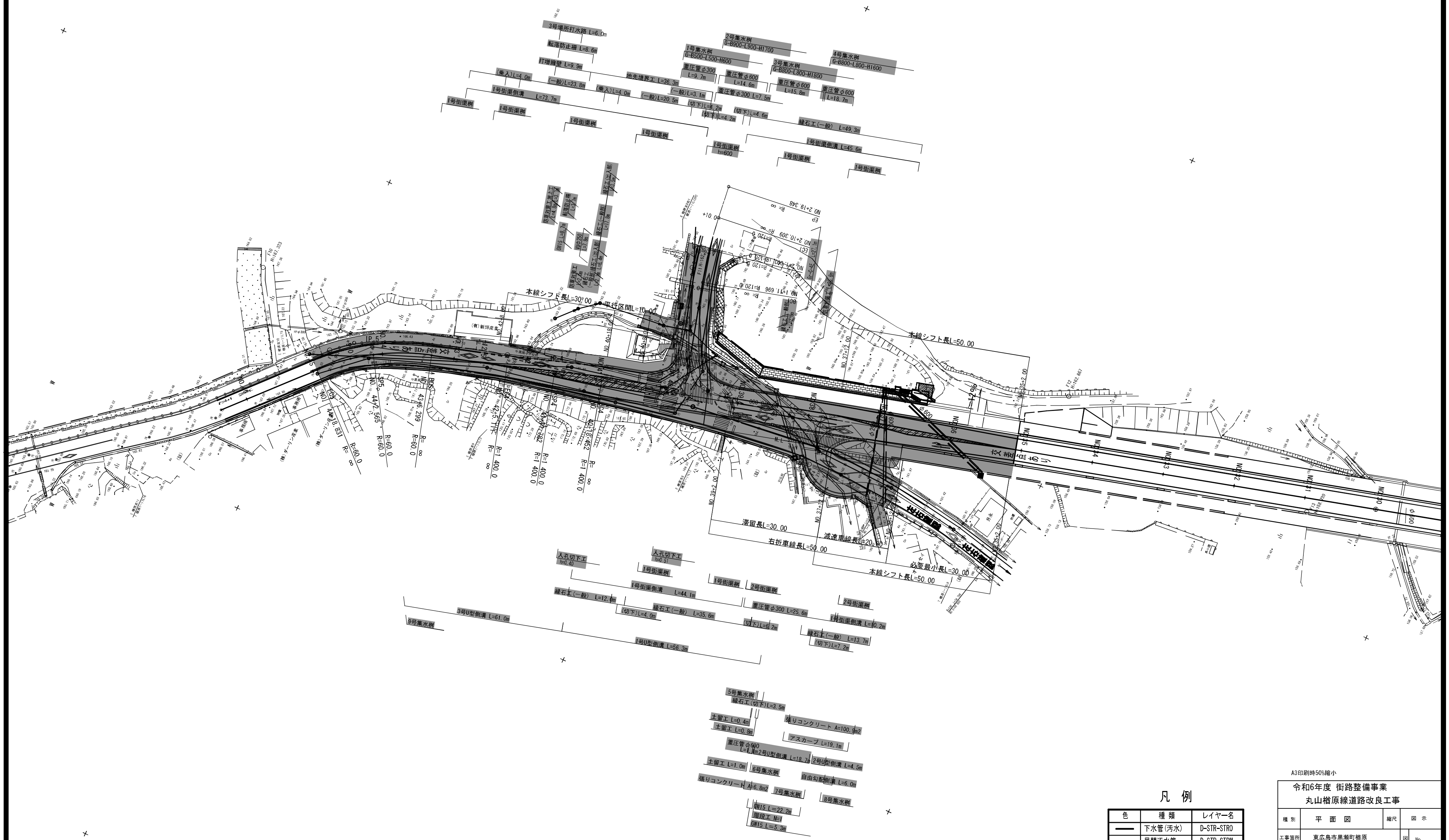
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
下層路盤(車道・路肩部)	【RC-30　t=100mm】	m2		398	
上層路盤(車道・路肩部)	【RM-30　t=100mm】	m2		398	
表層(車道・路肩部)	【再生密粒度アスコン(20)　t=50mm】	m2		398	
縁石工		式		1	
縁石工		式		1	
歩車道境界ブロック	【一般部】	m		13	
アスカーブ		m		46	
区画線工		式		1	
区画線工		式		1	
溶融式区画線	【実線_15cm】	m		101	
溶融式区画線	【破線_15cm】	m		20	
溶融式区画線	【実線_45cm】	m		4	
仮設工		式		1	
交通管理工		式		1	
交通誘導警備員		人		17	
＊＊直接工事費＊＊					
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					

工事数量総括表

費目・工種明細など		規格1・規格2	単位		数量	備考
＊＊純工事費＊＊						
現場管理費						
＊＊工事原価＊＊						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
＊＊工事価格＊＊						
＊＊消費税相当額＊＊						
＊＊工事費＊＊						
＊＊工事費計＊＊						
＊＊契約保証費計＊＊						

平　面　図　S=1:500



凡　例

色	種類	レイヤー名
――	下水管(汚水)	D-STR-STRO
――	民間汚水管	D-STR-STRM
――	上水道	D-STR-STRS
――	NTT	D-STR-STRN

A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業 丸山楢原線道路改良工事			
種別	平　面　図	縮尺	図　示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No
路線名			計

東広島市都市交通部都市整備課

縦断面図 V=1:100 H=1:500

道路構造規格

種級区分・・・・・・・第4種第2級

設計速度・・・・・・・V=40km/h（終点現況すりつけ部V=30km/h）

基準値

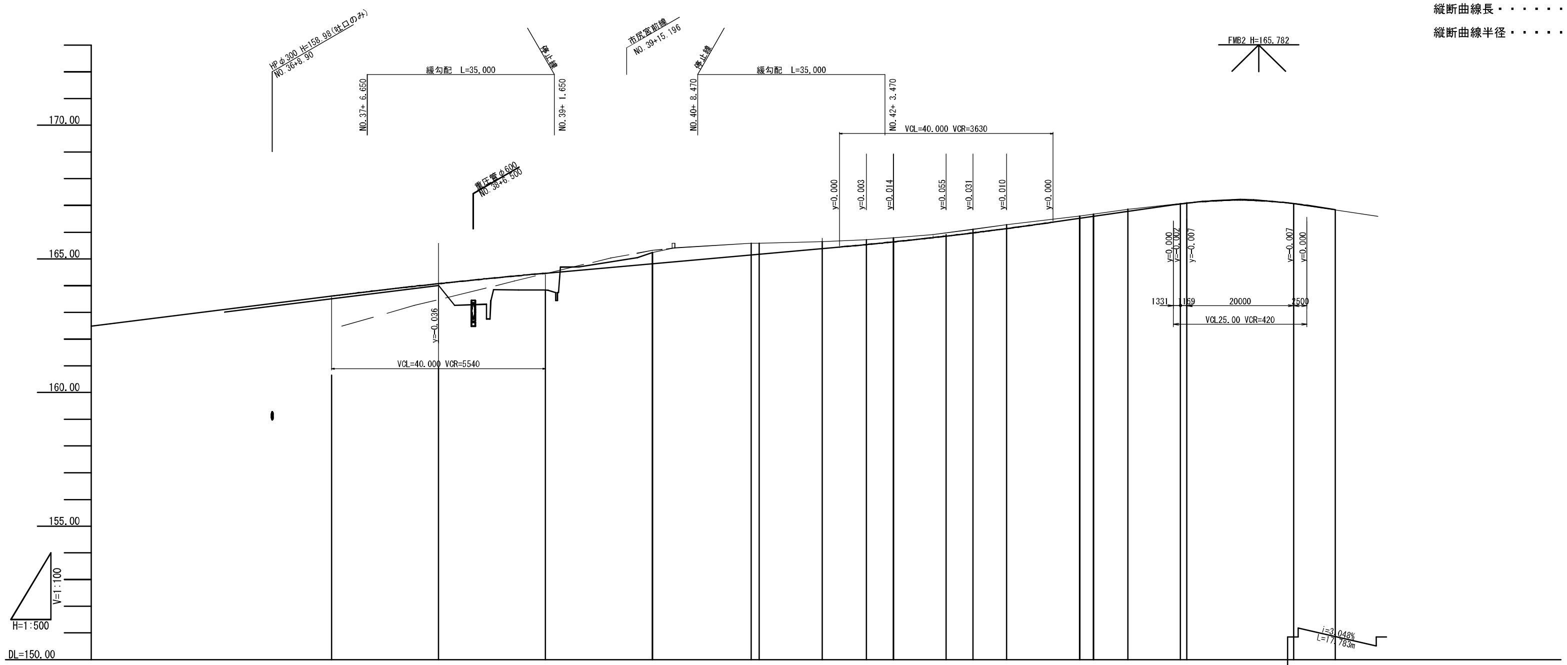
最少曲線半径・・・・・R=60m（特例値R=50m）（望ましい値100m）

最少曲線長・・・・・・L=70m（500/θ）

最急縦断勾配・・・・・i=7.00%（特例値10.00%）

縦断曲線長・・・・・・L=35.00m（30km→25.00m）

縦断曲線半径・・・・・凸=450m・凹450m



	NO.36	NO.37	NO.38	NO.39	NO.40	BC4	NO.41	SP4	NO.42
勾配		i=2.500% L=160.000	164.109		i=1.778% L=95.000				
切土高					0.420	0.432	0.414	0.265	0.367
盛土高	0.100	0.100	0.063	0.625					
計画高	163.109	163.609	164.073	164.465	164.820	165.148	165.176	165.385	165.535
地盤高	163.01	163.51	164.01	163.84	165.24	165.58	165.59	165.65	165.72
追加距離	720.000	740.000	760.000	780.000	800.000	818.452	820.000	831.782	840.000
単距離	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	18.452	1.548	11.782	8.218
測点	NO.36	NO.37	NO.38	NO.39	NO.40	BC4	NO.41	SP4	NO.42
曲率図			R=∞ L=390.004					IP.4 IA=1-5-28 TL=13.330 CL=26.659 SL=0.063 R=1400.000 LC=26.659	
片勾配すりつけ図	-1.5%								
拡幅すりつけ図									

	EC4	+15.000	NO.43	BC5	NO.44	SP5	+9.000	EC5	NO.45	NO.46	EP
勾配		165.798			i=2.880% L=55.000					167.382	166.840
切土高	0.154	0.057	0.137	0.156	0.082	0.088	0.083	0.012	0.003		
盛土高										0.010	0.000
計画高	165.636	165.853	165.973	166.134	166.518	166.592	166.777	167.058	167.087	167.070	166.840
地盤高	165.79	165.91	166.11	166.29	166.60	166.68	166.86	167.07	167.09	167.06	166.84
追加距離	845.111	852.500	860.000	866.299	880.000	882.565	889.000	898.831	900.000	920.000	927.783
単距離	5.111	7.389	7.500	6.299	13.701	2.565	6.435	9.831	1.169	20.000	7.783
測点	EC4	+15.000	NO.43	BC5	NO.44	SP5	+9.000	EC5	NO.45	NO.46	EP
曲率図		R=∞ L=21.188				IP.5 IA=31-3-54 TL=16.676 CL=32.531 SL=2.274 R=60.000 LC=32.531				R=∞ L=28.952	
片勾配すりつけ図											-1.5% -1.5%
拡幅すりつけ図											

A3印刷時50%縮小

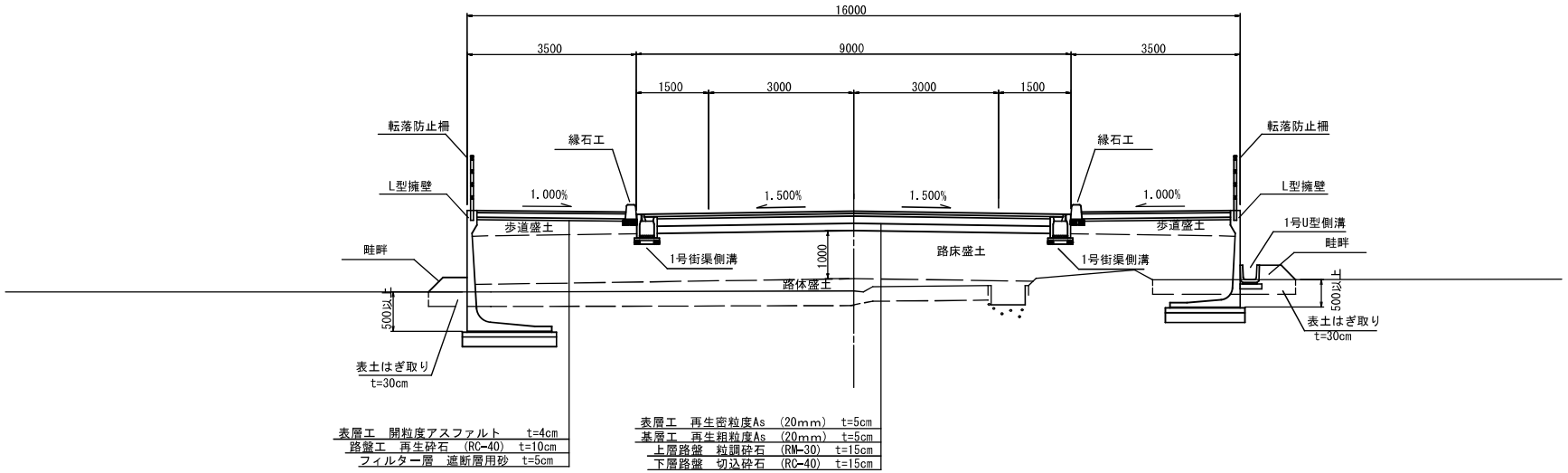
令和6年度 街路整備事業 丸山楢原線道路改良工事			
種別	縦断図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No
路線名	丸山楢原線		計
東広島市都市交通部都市整備課			

標準横断図 S=1:50

道　路　区　分・・・・・・第４種２級
設　計　速　度・・・・・・４０ｋｍ／ｈｒ
交　通　区　分・・・・・・250≦T<1000
設　計．ＣＢＲ・・・・・８％

舗装設計条件					
交通区分	250≦T<1000				
工種＼区分	設計厚	種　別	換算係数	換算値	条　件
表　層	5	再生密粒度アスコン	1.00	5.00	
基　層	5	再生粗粒度アスコン	1.00	5.00	
上層路盤	15	粒度調整砕石	0.35	5.25	
下層路盤	15	再生クラッシャーラン	0.25	3.75	
合　計	40				
設計C.B.R= 8 %		合計舗装厚(H)=40cm		TA = 19.00≧19(目標値)	

NO.30



凡　例

記　号	工　種	備考
C(SE)	掘削(土砂)	
C(M)	掘削(粘性)	
B1-1～4	路床盛土	
B2-1～4	路体盛土	
B3-1～4	歩道盛土	
E(SE)	床掘(土砂)	
Fu(C,D)	発生土埋戻	
K(SE)	基面整正	
L'	切土法面整形	
L''	盛土法面整形	
As	舗装版取壊	
Co	ｺﾝｸﾘｰﾄ取壊	
W	車道舗装	
w	歩道舗装	

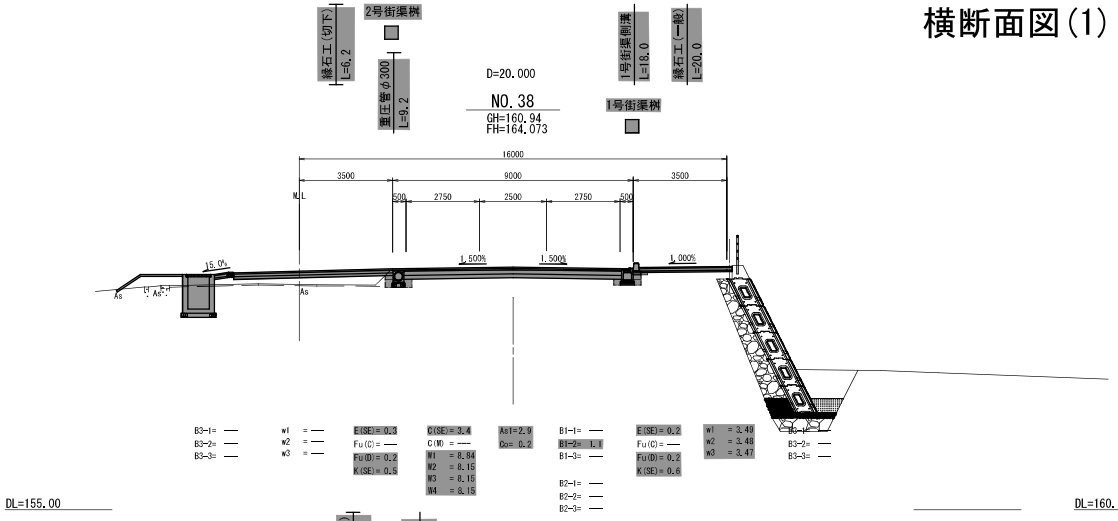
A3印刷時50%縮小

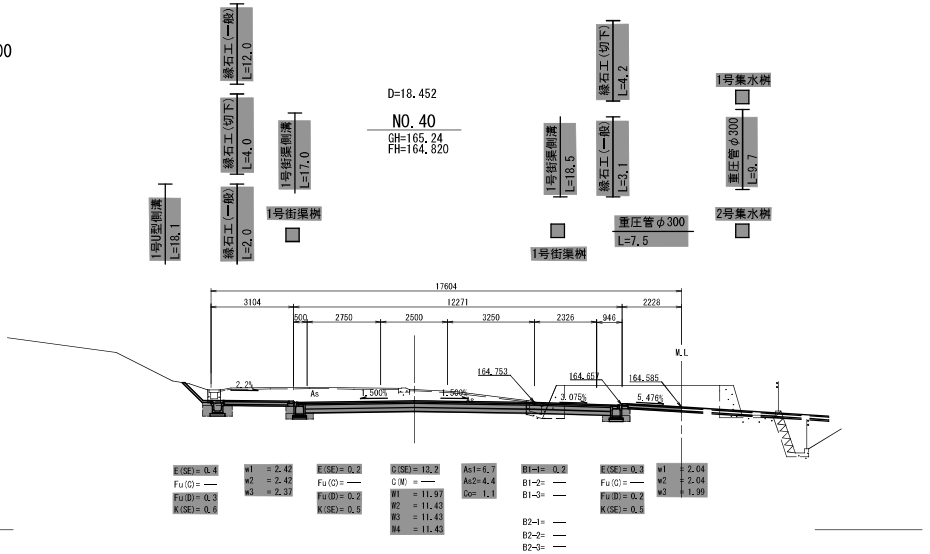
令和6年度 街路整備事業
丸山楢原線道路改良工事

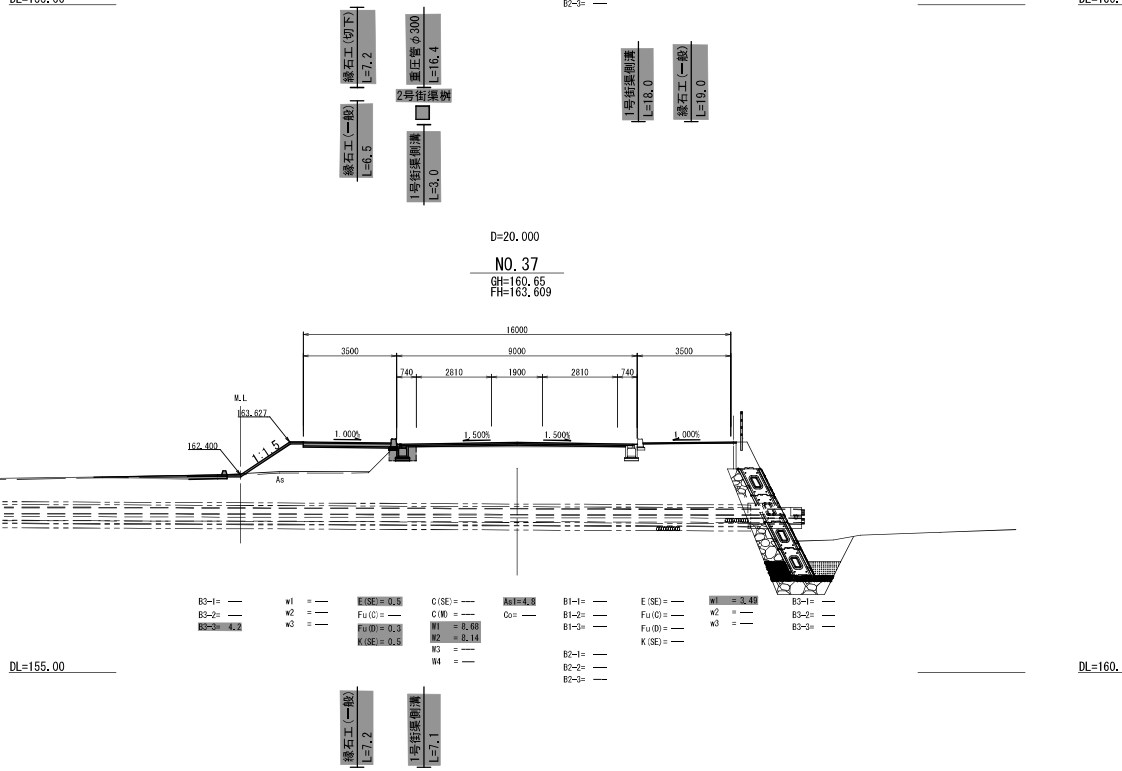
種別	標準断面図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No
路線名	丸山楢原線		計

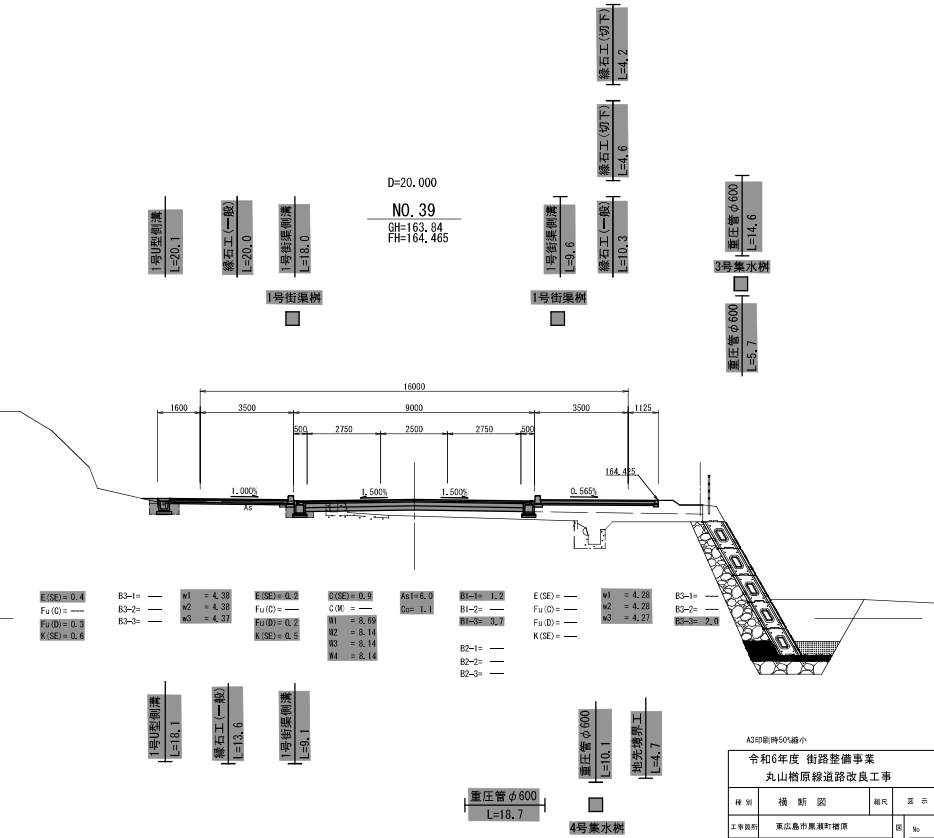
東広島市都市交通部都市整備課

横断面図(1) S=1:100









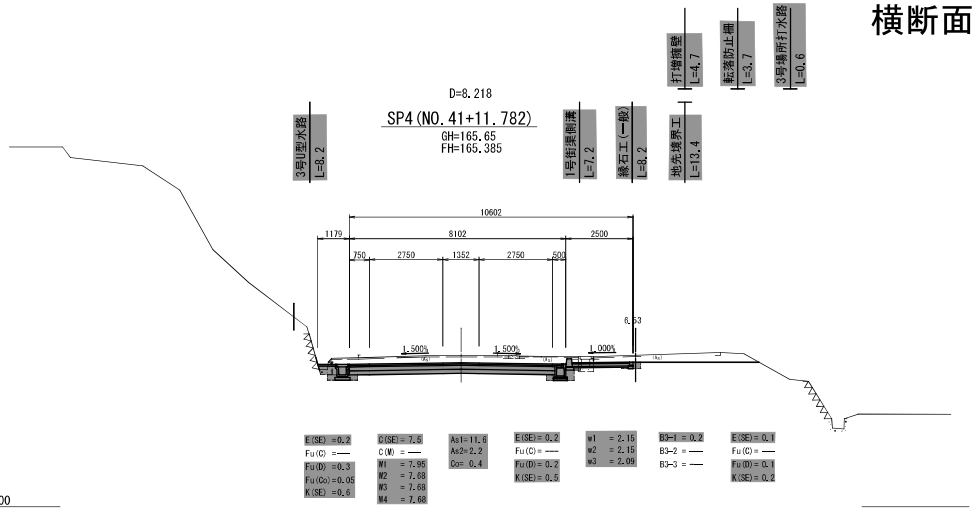
A3印刷時50%縮小

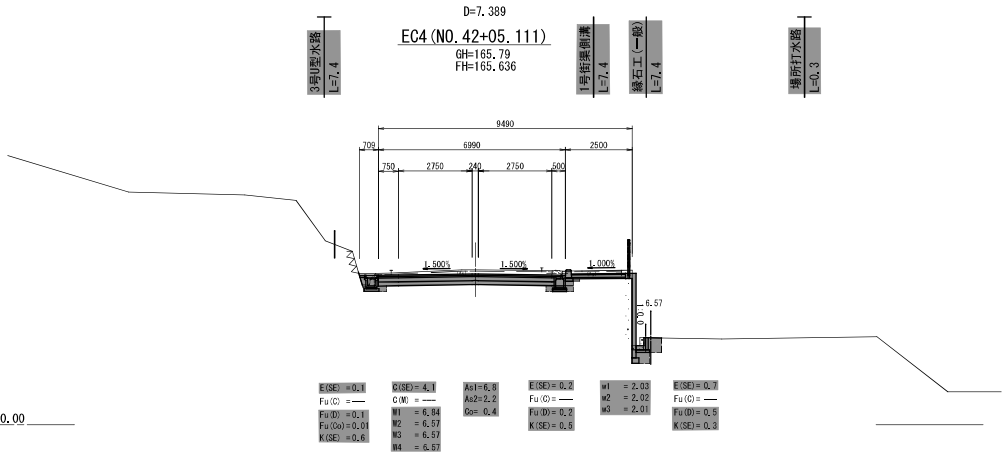
令和6年度 街路整備事業
丸山楢原線道路改良工事

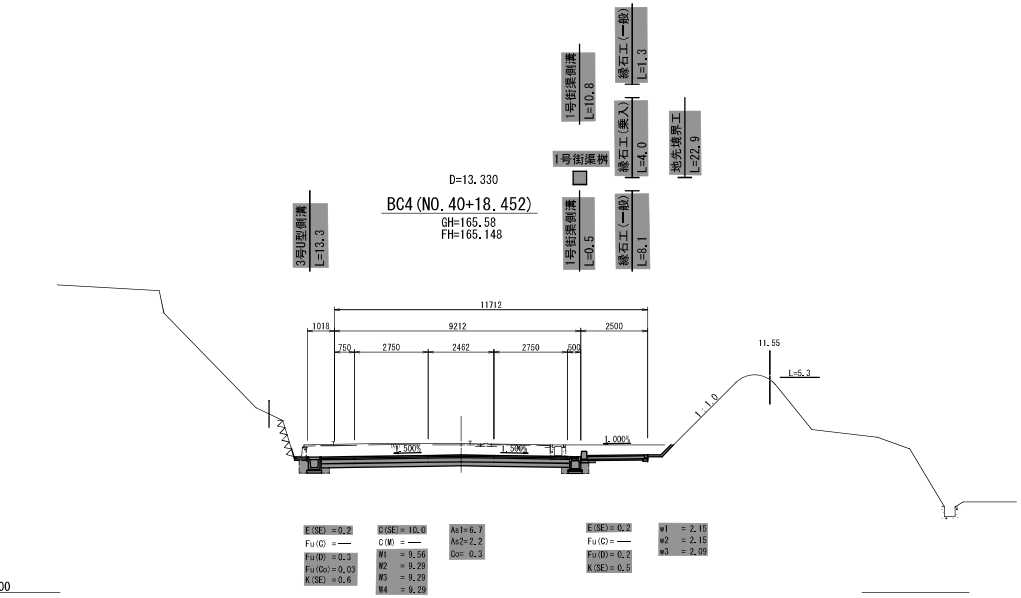
種別	横断図	縮尺	首示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図	No
路線名	丸山楢原線	準	計

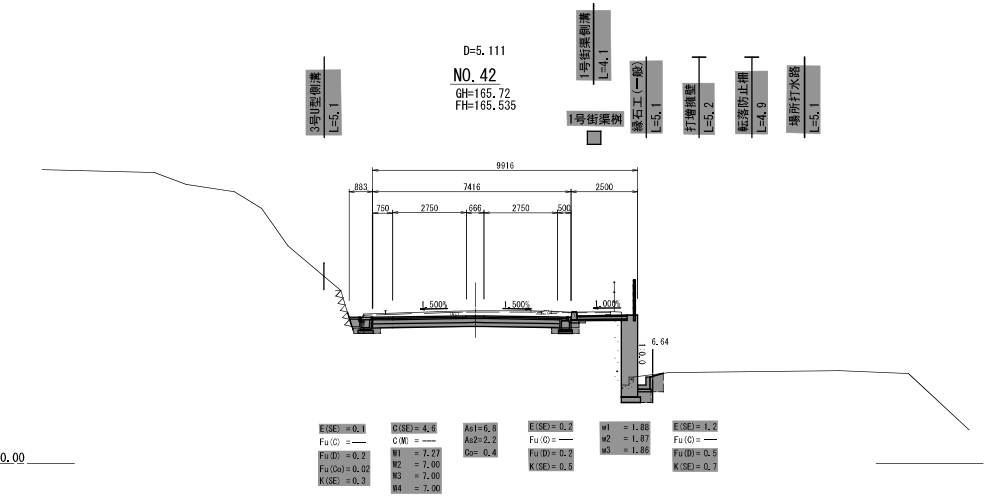
東広島市都市交通部都市整備課

横断面図(2) S=1:100









A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業
丸山楢原線道路改良工事

種別	横 断 図	縮尺	図 示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No
路線名	丸山楢原線		計

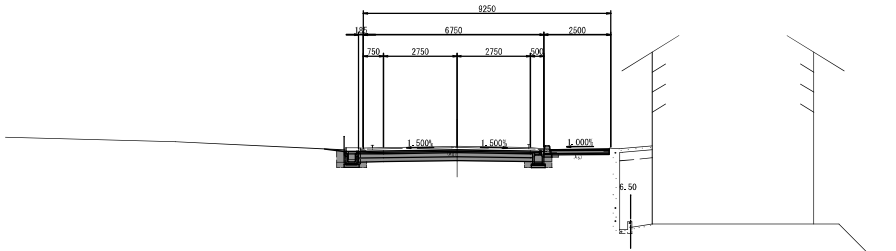
東広島市都市交通部都市整備課

横断面図(3) S=1:100

D=6.299

NO.43
GH=166.11
FH=165.973

3号U型側溝 L=6.3
1号街渠側溝 L=5.3
1号街渠桝
練石工(一般) L=6.3



E(SE)=0.2
Fu(C)=——
Fu(D)=0.3
K(SE)=0.6

C(SE)=3.9
C(M) =——
W1 =6.78
W2 =6.52
W3 =6.52
W4 =6.52

As1=6.9
As2=2.2
Co=0.3

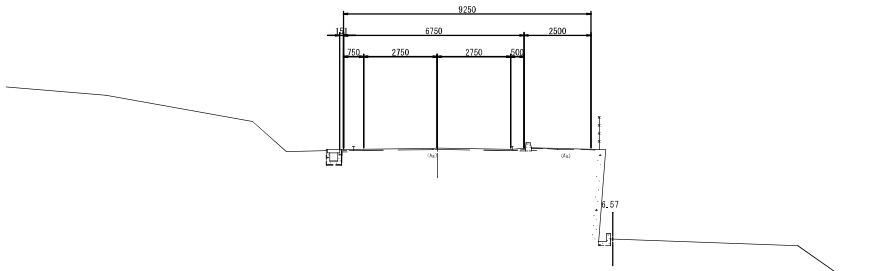
E(SE)=0.2
Fu(C)=——
Fu(D)=0.2
K(SE)=0.5

w1 =2.22
w2 =2.21
w3 =2.20

DL=160.00

D=2.565

NO.44
GH=166.60
FH=166.518



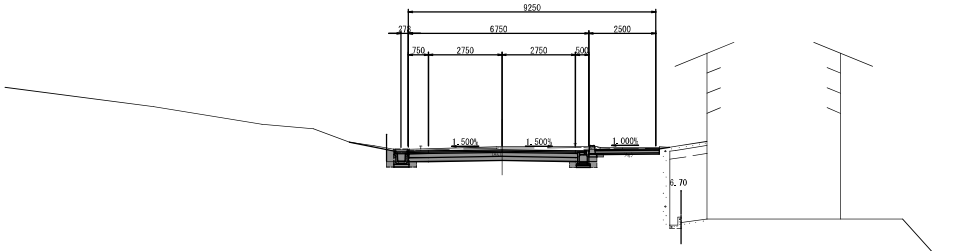
DL=160.00

練石工(一般) L=1.7
練石工(集入) L=4.0

D=7.500

NO.42+12.5
GH=165.91
FH=165.796

3号U型水路 L=7.5
1号街渠側溝 L=6.5
練石工(一般) L=1.8



E(SE)=0.2
Fu(C)=——
Fu(D)=0.3
K(SE)=0.6

C(SE)=4.0
C(M) =——
W1 =6.60
W2 =6.33
W3 =6.33
W4 =6.33

As1=6.7
As2=2.2
Co=0.3

E(SE)=0.2
Fu(C)=——
Fu(D)=0.2
K(SE)=0.5

w1 =2.41
w2 =2.40
w3 =2.39

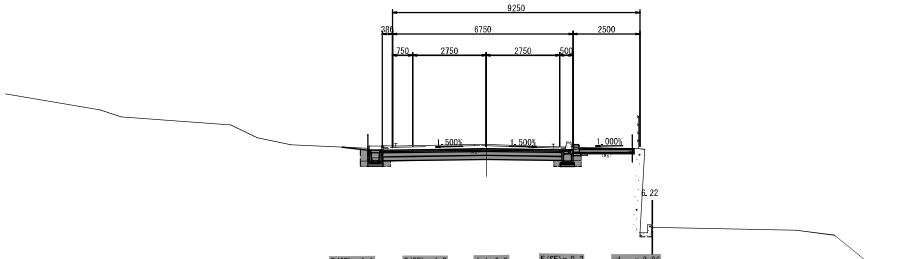
DL=160.00

9号集水桝

D=13.701

BC5(NO.43+06.299)
GH=166.29
FH=166.134

3号U型側溝 L=12.8
1号街渠側溝 L=13.4
練石工(一般) L=14.4



E(SE)=0.2
Fu(C)=——
Fu(D)=0.3
K(SE)=0.6

C(SE)=4.2
C(M) =——
W1 =6.99
W2 =6.72
W3 =6.72
W4 =6.72

As1=6.8
As2=2.3
Co=0.3

E(SE)=0.2
Fu(C)=——
Fu(D)=0.2
K(SE)=0.5

w1 =2.06
w2 =2.05
w3 =2.04

DL=160.00

A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業
丸山楢原線道路改良工事

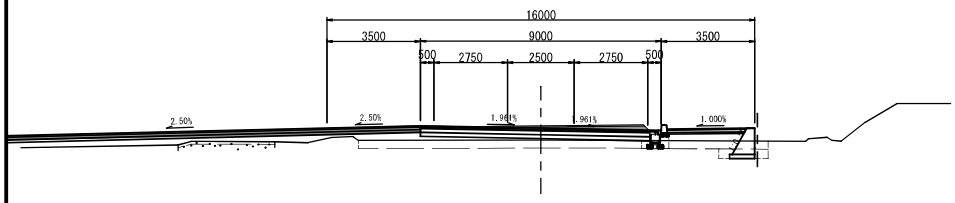
種別	横 断 図	縮尺	図 示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No
路線名	丸山楢原線		計

東広島市都市交通部都市整備課

D=20.000

NO.19

GH=158.27
FH=158.718



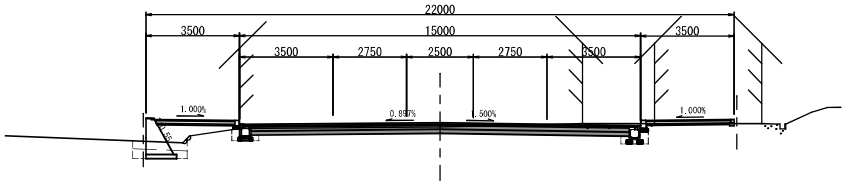
DL=155.00

C(SE)= 1.30 As= 25.0
C(M) = Co=
M1 = 25.0
M2 = 25.0
M3 =
M4 =

D=8.448

NO.21

GH=159.43
FH=159.592



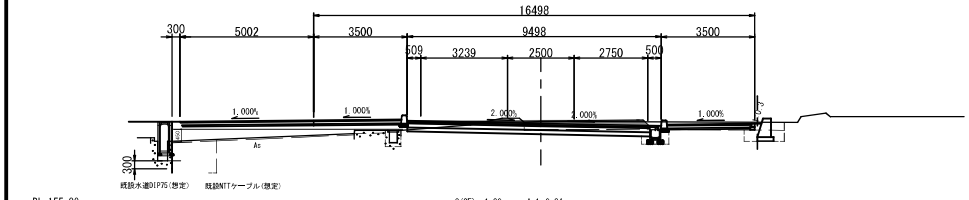
DL=155.00

C(SE)= 4.8 As=
C(M) = Co=
M1 = 14.68
M2 = 14.14
M3 = 14.14
M4 = 14.14

D=20.000

NO.18

GH=158.29
FH=158.218



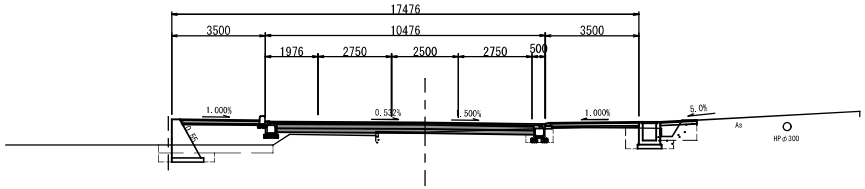
DL=155.00

C(SE)= 1.30 As1= 9.34
C(M) = Co=
M1 = 9.34
M2 = 9.06
M3 = 9.06
M4 = 9.06

D=20.000

NO.20

GH=159.85
FH=159.217



DL=155.00

C(SE)= 0.7 As=
C(M) = Co=
M1 = 10.16
M2 = 9.62
M3 = 9.62
M4 = 9.62

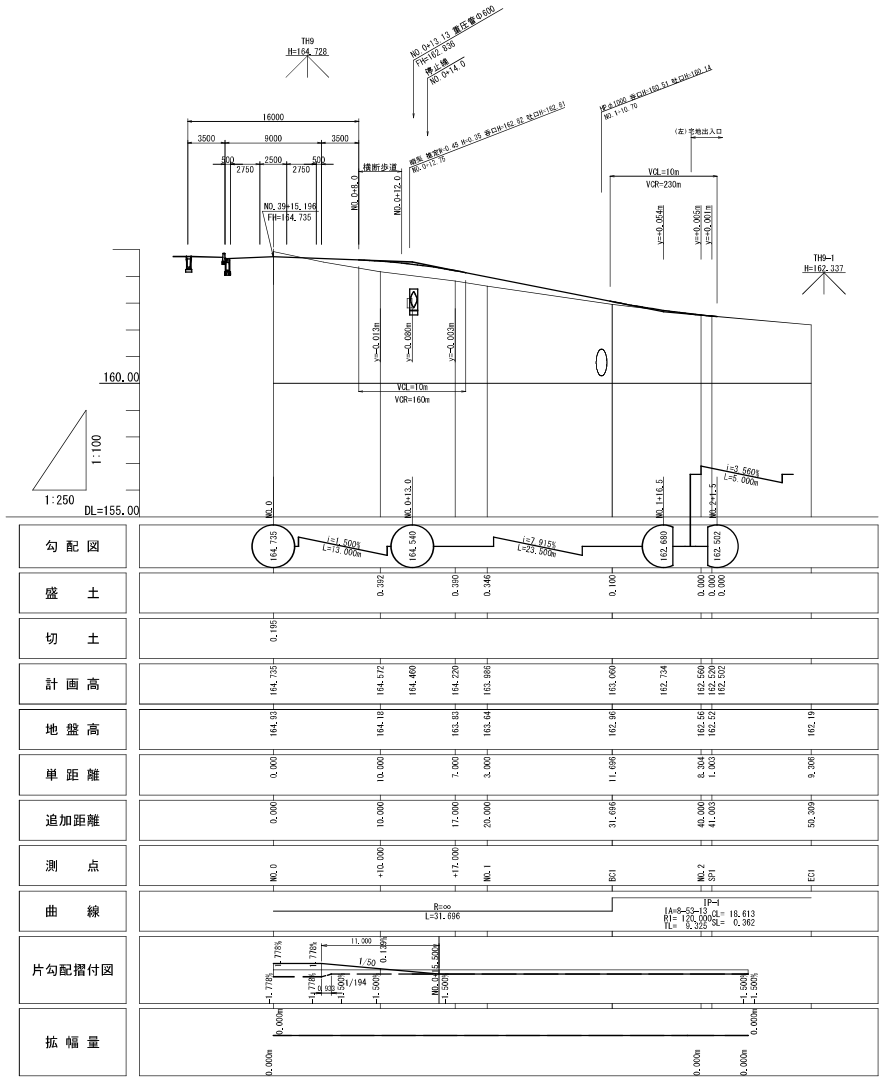
A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業
丸山禡原線道路改良工事

種別	横 断 図	縮尺	S=1:100
工事箇所	東広島市黒瀬町禡原	図番	No.
路線名	丸山禡原線線		計

東広島市都市交通部都市整備課

縦断面図 V=1:100 H=1:250



A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業
丸山楢原線道路改良工事

種別	縦断図	縦尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No
路線名	市民宮前線		計

東広島市都市交通部都市整備課

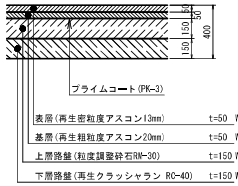
標準横断図 S=1:100

（市尻宮前線）

車道舗装 S=1:20

（250≦T<1000，設計CBR=8.0%）

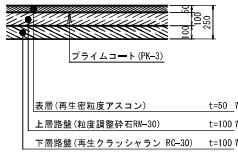
（丸山楢原線）



車道舗装 S=1:20

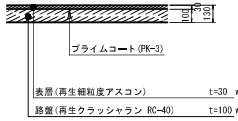
（T<100，設計CBR≧8.0%）

（市尻宮前線）



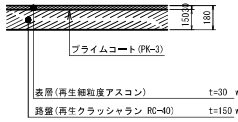
歩道舗装 S=1:20

（標準部）



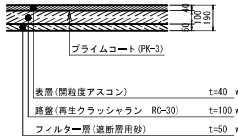
歩道舗装 S=1:20

（出入部）



歩道舗装 S=1:20

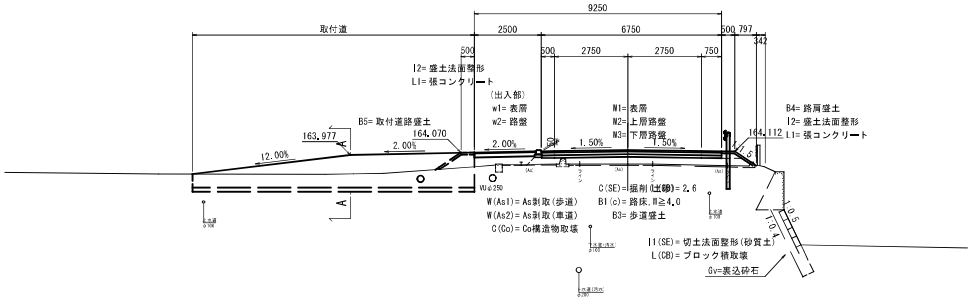
（透水性舗装）



D =区間距離

NO.1

GH=地盤高
FH=計画高

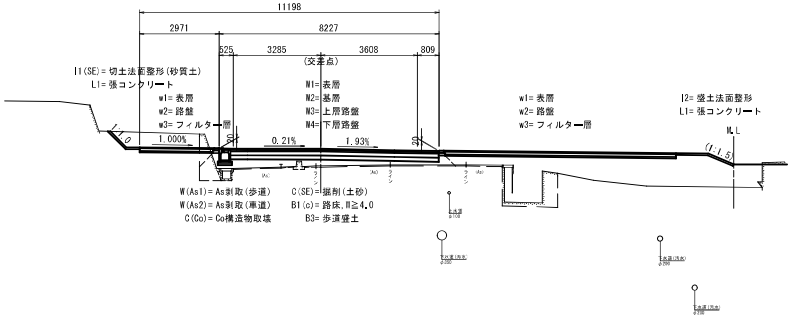


C(C)=掘削(粘性土)
E(SE)=床掘(砂質土)
Fu(C)=埋戻(In未満)
直換Gv=直換砕石

D =区間距離

NO.0+10.000

GH=地盤高
FH=計画高



数量記号一覧表

工種	種別	規格，細別	記号
土工	土砂片切掘削	W<5.0	C1(SE)
	粘性土掘削	W<5.0	C(C)
	路床盛土	W<2.5	B1(a)
	〃	2.5≦W<4.0	B1(b)
	〃	W≧4.0	B1(c)
	歩道盛土		B3
	路肩盛土		B4
	取付道路盛土		B5
	法面整形	切土法面整形	I1(SE)
	〃	盛土法面整形	I2
	床掘		E
	埋戻		Fu
	基面整正		K
法面工	防草対策	張コンクリート	L1
取壊工	アスファルト	車道幅員	W(As1)
	アスファルト	歩道幅員	W(As2)
	コンクリート	立壁	C(Co)
	ブロック積	面積	L(CB)

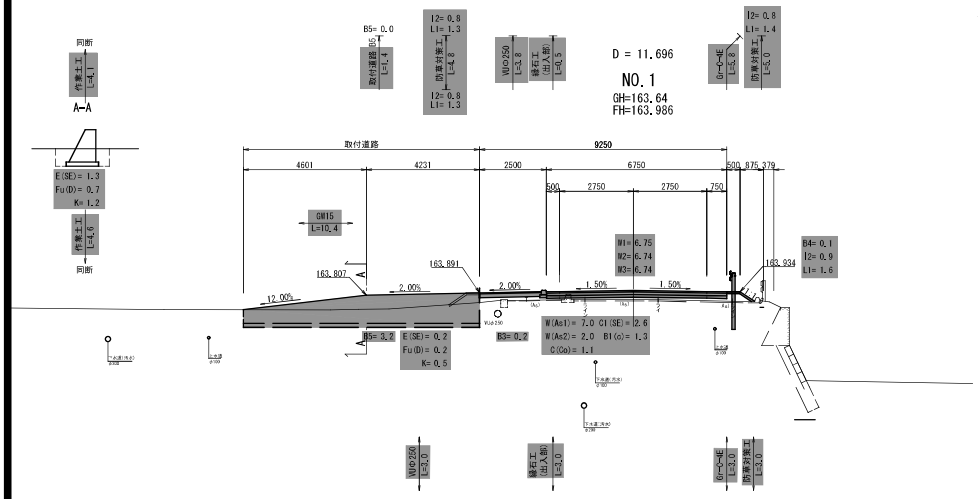
A3印刷時50%縮小

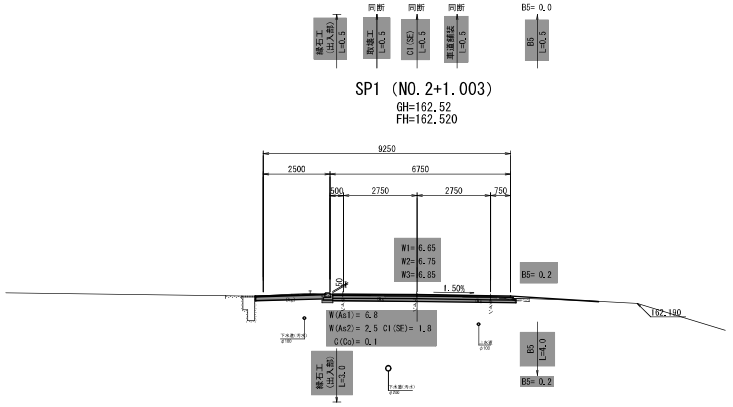
令和6年度 街路整備事業
丸山楢原線道路改良工事

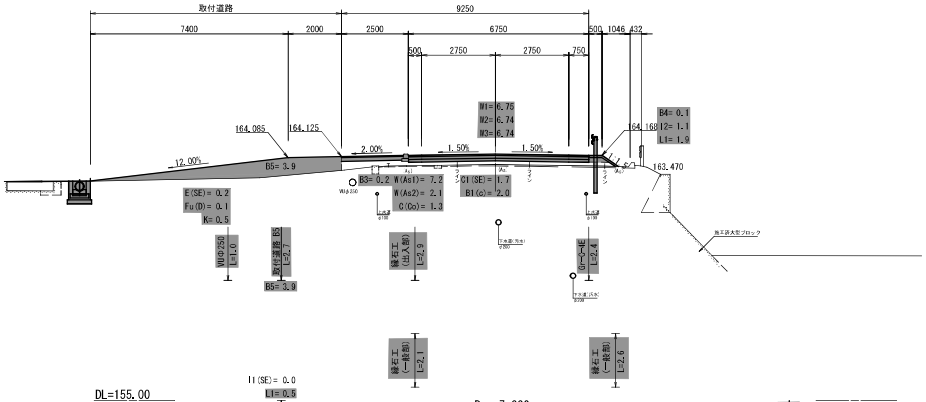
種別	標準断面図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No
路線名	市尻宮前線		計

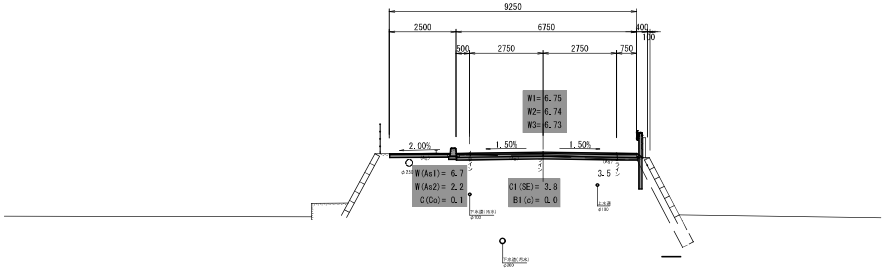
東広島市都市交通部都市整備課

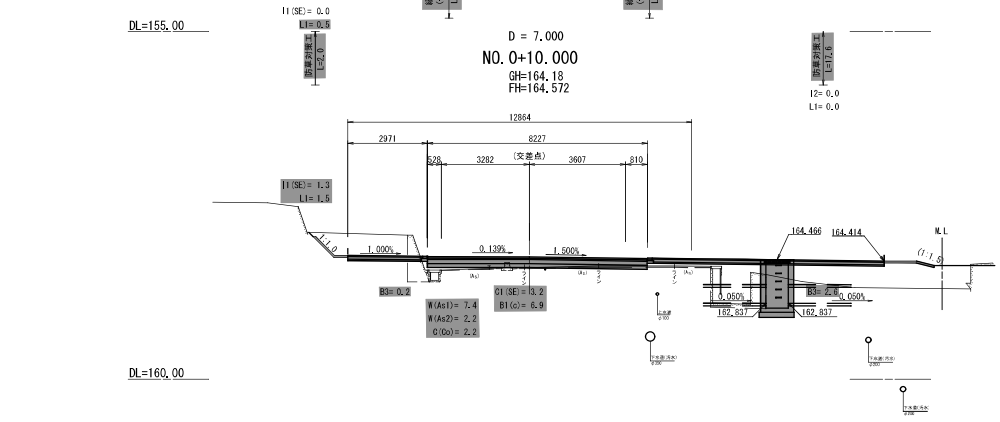
横断面図　S=1:100









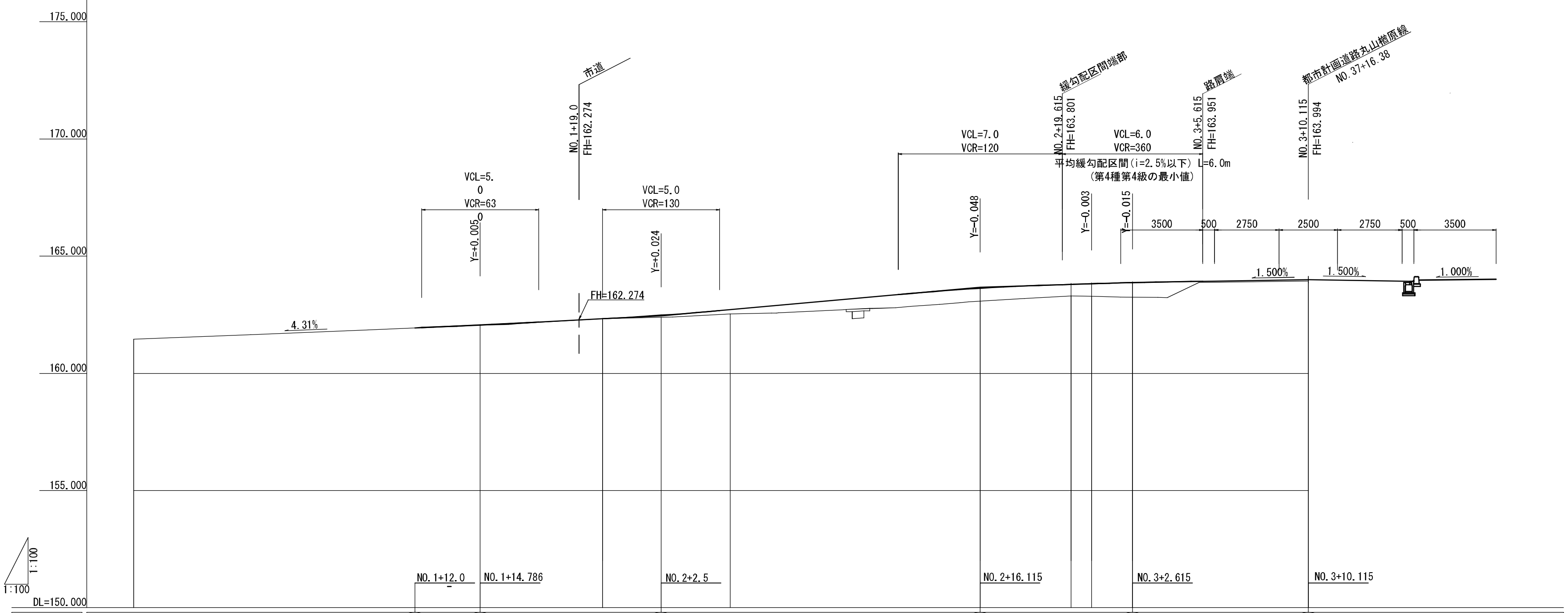


A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業 丸山楢原線道路改良工事			
種別	横　断　図	縮尺	図　示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No
路線名	市民宮前線		計

東広島市都市交通部都市整備課

縦断面図 V=1:100 H=1:100



	NO.1	+14.786	NO.2	+5.447	+16.115	NO.3	+0.865	+2.615	+10.115
勾配	161.940 i=4.307% L=2.786	162.060 i=5.095% L=7.714		162.453 i=8.997% L=13.615	163.678 i=3.138% L=6.500			163.882 i=1.500% L=7.500	163.994
盛土高		0.005		0.188	0.547	0.500	0.535	0.623	0.054
切土高	0.060		0.004						
計画高	161.400	162.065	162.326	162.718	163.627	163.800	163.825	163.870	163.994
地盤高	161.460	162.060	162.330	162.530	163.080	163.300	163.290	163.247	163.940
追加距離	20.000	34.786	40.000	45.447	56.115	60.000	60.865	62.615	70.115
単距離	20.000	14.786	5.214	5.447	10.668	3.885	0.865	1.750	7.500
測点	NO.1	+14.786	NO.2	+5.447	+16.115	NO.3	+0.865	+2.615	+10.115

曲率: R=230 L=34.786 / R=15 L=10.661 / L=15.418 R=8 / R=∞ L=9.25

拡幅: 0.000 0.000 / 0.250 0.250 / 0.250 0.250

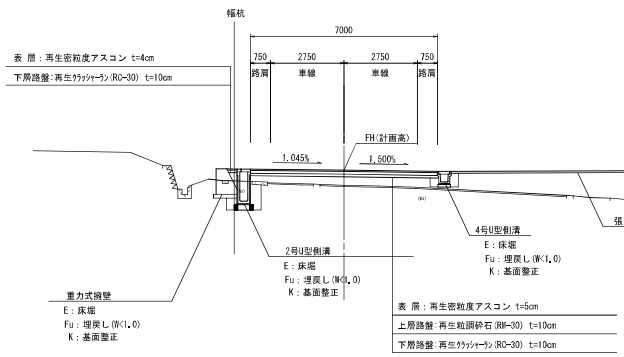
片勾配: 1/6786 / -1.5% NO.2+ 5.447 / -1.5% NO.2+15.135 / 1/50 / -1.5% +1.5% NO.2+19.689 / NO.3+ 0.865 -2.281% +2.169%

A3印刷時50%縮小

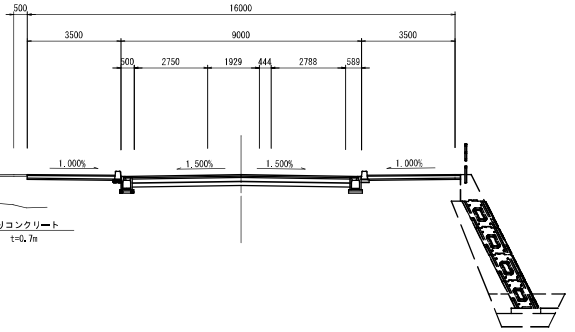
令和6年度 街路整備事業 丸山楢原線道路改良工事			
種別	縦断図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No 計
路線名	楢原中央線		
東広島市都市交通部都市整備課			

標準横断面図 S=1:100

NO.2+18.0付近

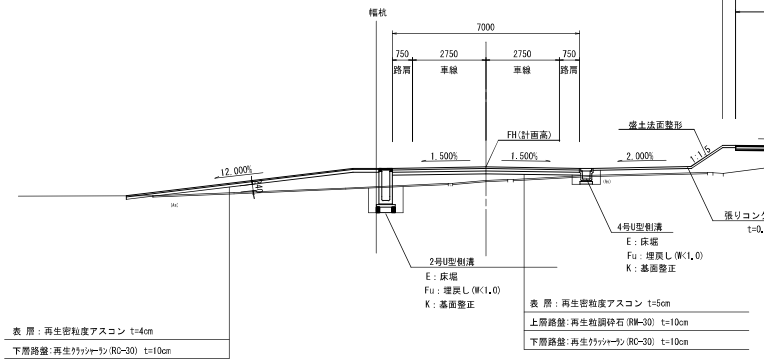


本線 NO.37+4.992付近

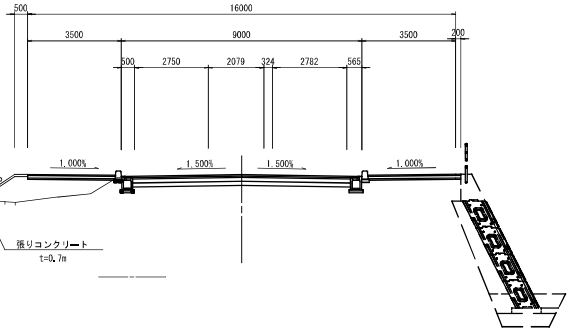


DL=160.00

EC1-2(NO.2+5.447)付近



本線 NO.37+8.848付近



DL=160.00

凡 例

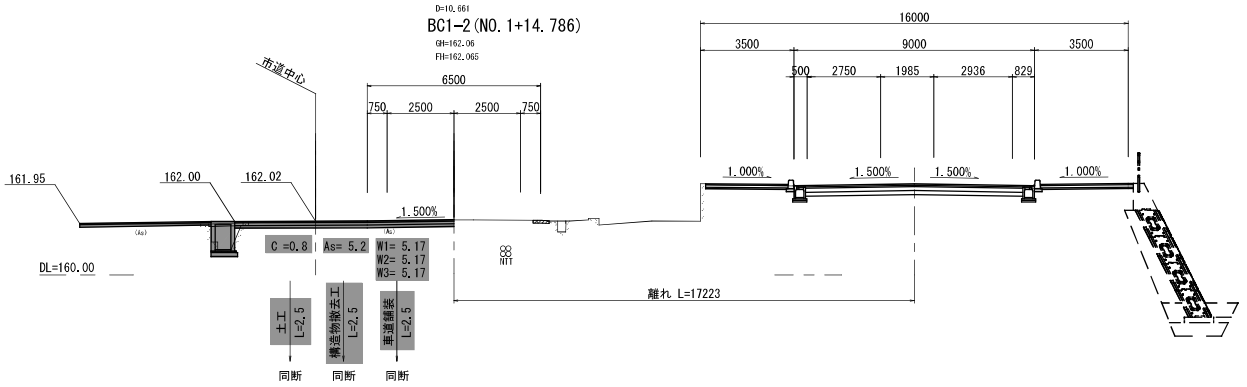
記 号	工 種
C	掘削(砂質土)
B1	路床盛土
E	掘削(砂質土)
Fud	埋戻し(区分 D:W<1.0)
K	基面整正
As	舗装版取壊
Co	無筋Co構造物取壊
W1～W4	車道舗装

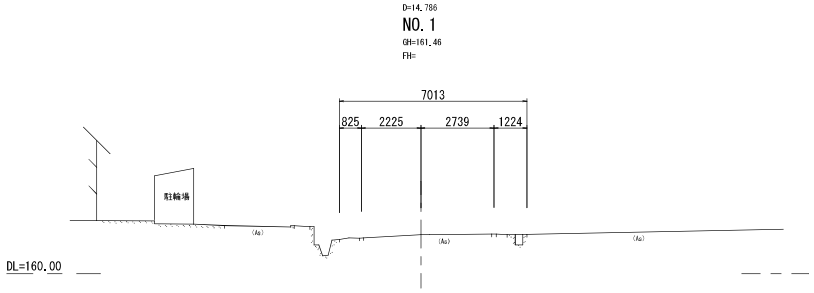
A3印刷時50%縮小

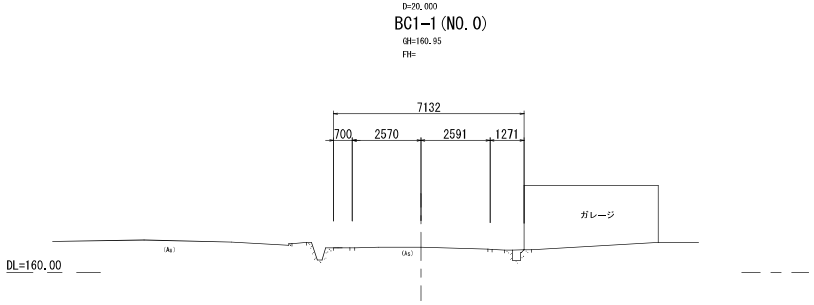
令和6年度 街路整備事業 丸山椹原線道路改良工事			
種 別	標準断面図	縮尺	図 示
工事箇所	東広島市黒瀬町椹原	図番	No
路線名	椹原中央線		計
東広島市都市交通部都市整備課			

横断面図(1) S=1:100

本線 NO.36+11.909
FH=163.407



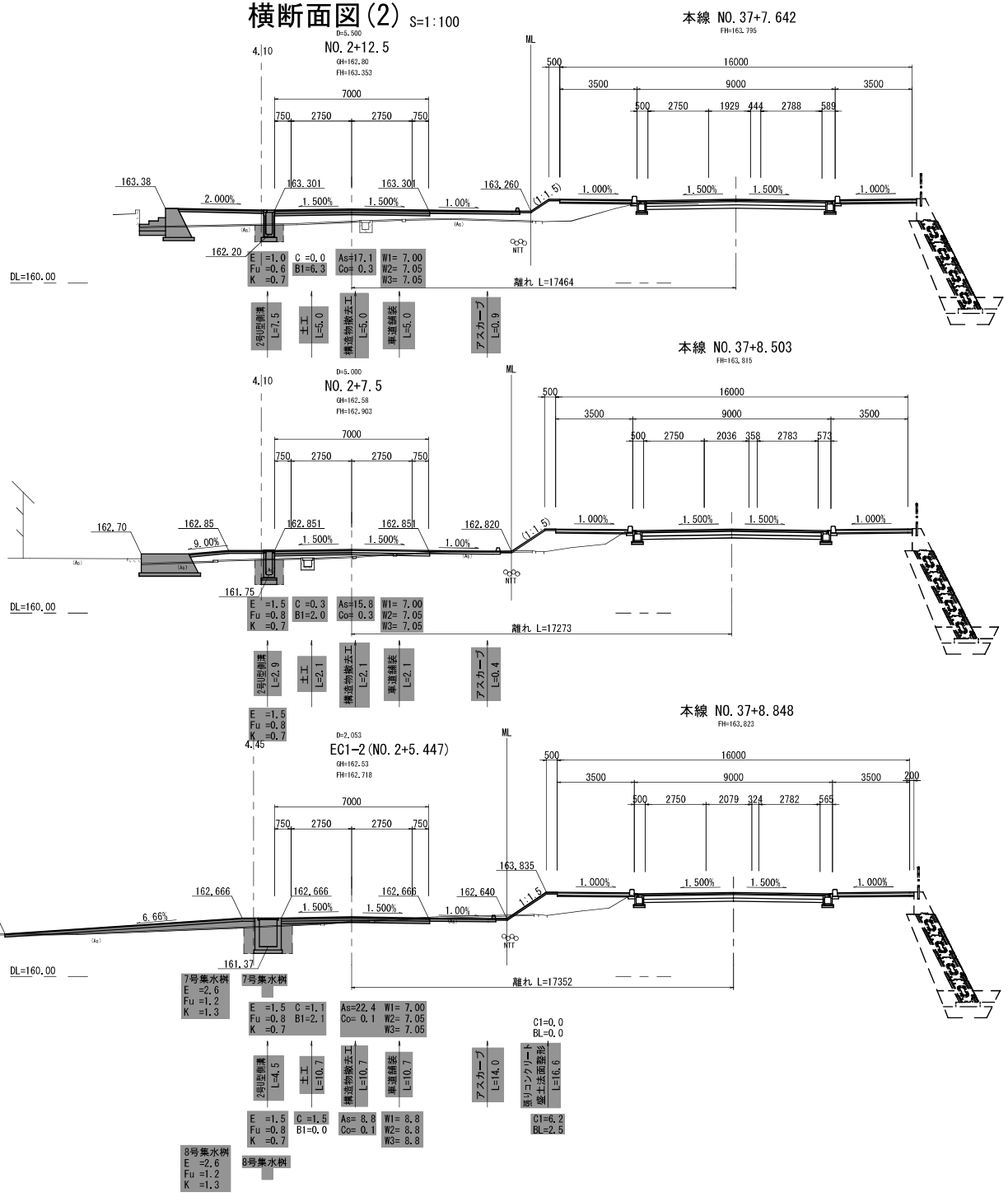




A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業 丸山楢原線道路改良工事			
種別	横 断 図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No 計
路線名	楢原中央線		
東広島市都市交通部都市整備課			

横断面図(2) S=1:100



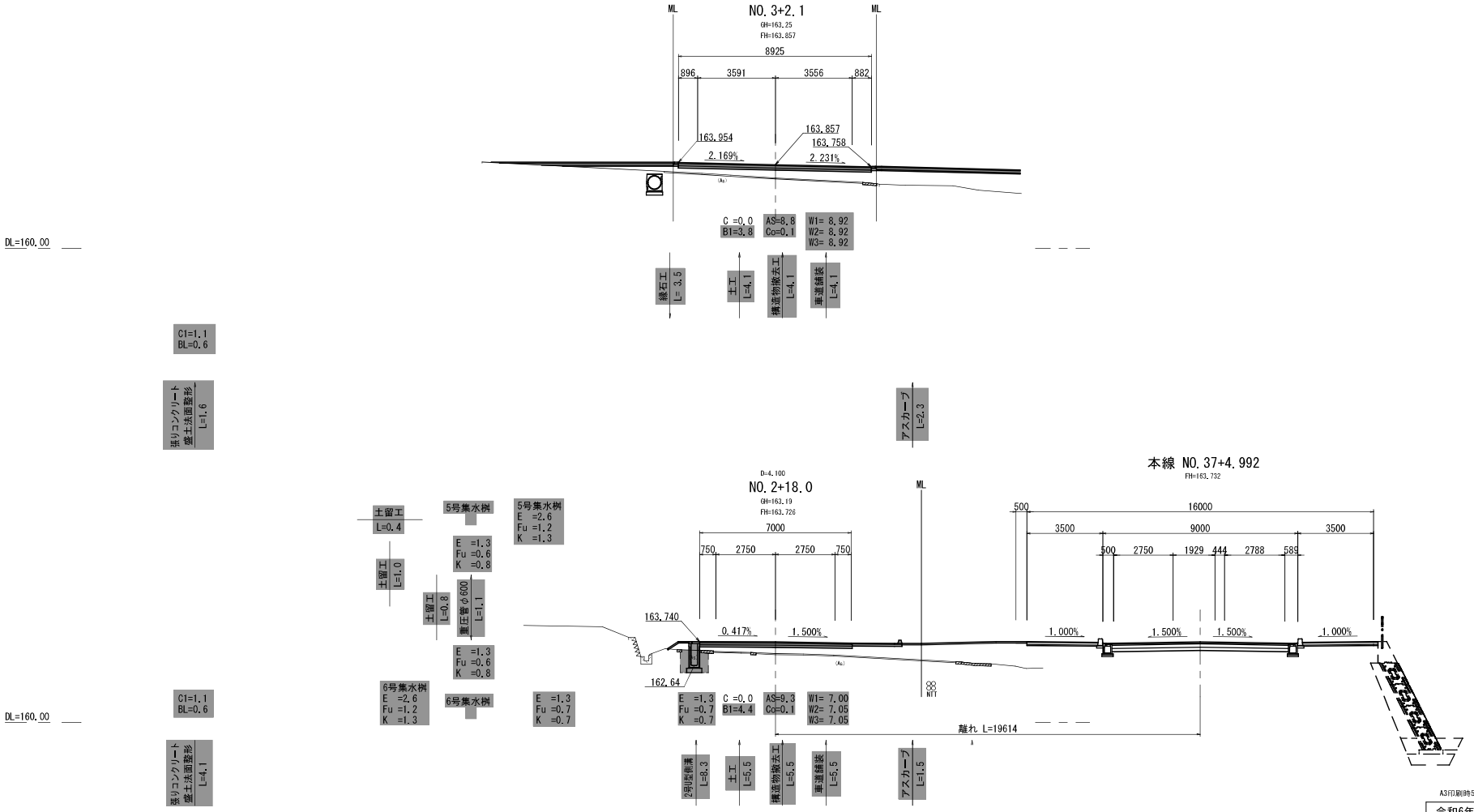
A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業
丸山楢原線道路改良工事

種別	横断図	縦尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No
路線名	楢原中央線		計

東広島市都市交通部都市整備課

横断面図(3) S=1:100



A3印刷時50%縮小

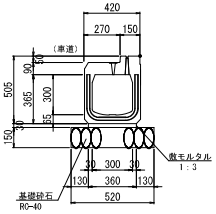
令和6年度 街路整備事業
丸山楢原線道路改良工事

種別	横断図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No
路線名	楢原中央線		計

東広島市都市交通部都市整備課

構造図(1)

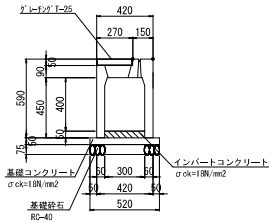
1号街渠側溝
（参考構造図）　S=1:20

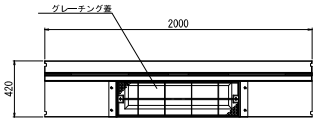


数量表　10m当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量
側　溝	B300	個	5.000
基礎砕石	RC-40　t=15cm	m2	6.200
		m3	0.930
敷モルタル	1：3	m3	0.108

1号街渠桝
（参考構造図）　S=1:20

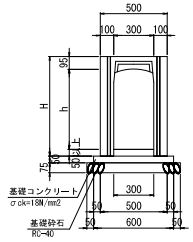




数量表　1箇所当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量
側　溝	集水用B300	個	1.000
側溝蓋	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ T-25	枚	1.000
基礎砕石	RC-40　t=7.5cm	m2	1.040
		m3	0.078
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	0.052
基礎型枠		m2	0.200
インバート	σck=18N/mm2	m3	0.030

自由勾配側溝
S=1:20



寸法表

呼び名	寸法(mm)
h	H
300	445
400	545
500	645
600	745
700	845

数量表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
自由勾配側溝	300	個	5.000
無騒音蓋	300	個	8.000
グレーチング蓋	B300 T-25，細目	個	1.000
インバートｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	0.150
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.300
基礎コン型枠	均し	m2	1.000
基礎砕石	t=75	m2	7.000

A3印刷時50%縮小

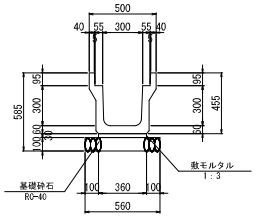
令和6年度 街路整備事業
丸山櫛原線道路改良工事

種別	構　造　図	縮尺	図　示
工事箇所	東広島市黒瀬町櫛原	図番	No
路線名			計

東広島市都市交通部都市整備課

構造図(2)

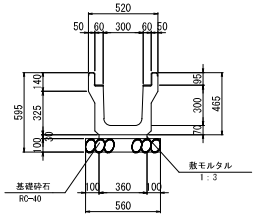
1号U型側溝
S=1:20



数量表 10m当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量
側　溝	PU2-B300-H300	個	5.000
基礎砕石	RC-40　t=10cm	m2 m3	5.600 0.560
敷モルタル	1:3	m3	0.108
ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	L500	枚	18.0
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	L1000　T-2　細目	枚	1.00

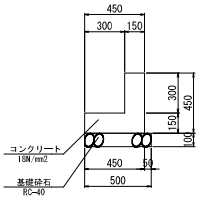
3号U型側溝
S=1:20



数量表 10m当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量
側　溝	PU4-B300-H300	個	5.000
基礎砕石	RC-40　t=10cm	m2 m3	5.600 0.560
敷モルタル	1:3	m3	0.108
ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	L500	枚	18.0
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	L1000　T-14　細目	枚	1.00

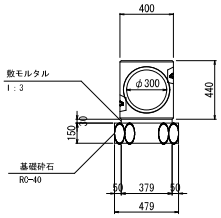
場所打水路
S=1:20



数量表 10m当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量
コンクリート	18N/mm2	m3	1.125
型　枠	1:3	m2	9.000
基礎砕石	RC-40　t=10cm	m2 m3	5.000 0.500

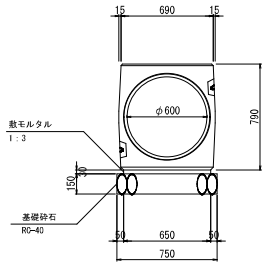
重圧管φ300
（参考構造図）　S=1:20



数量表 10m当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量
管	T-25(重圧管)	本	5.000
基礎砕石	RC-40　t=15cm	m2 m3	4.800 0.720
敷モルタル	1:3	m3	0.114

重圧管φ600
（参考構造図）　S=1:20



数量表 10m当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量
管	T-25(重圧管)	本	5.000
基礎砕石	RC-40　t=15cm	m2 m3	7.500 1.125
敷モルタル	1:3	m3	0.195

A3印刷時50%縮小

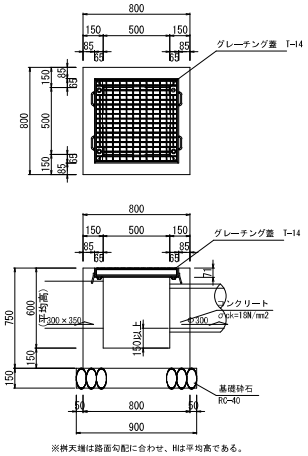
令和6年度 街路整備事業
丸山楢原線道路改良工事

種別	構　造　図	縮尺	図　示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No
路線名			計

東広島市都市交通部都市整備課

構造図(3)

1号集水桝
G-B500-L500-H600(T-14) S=1:20

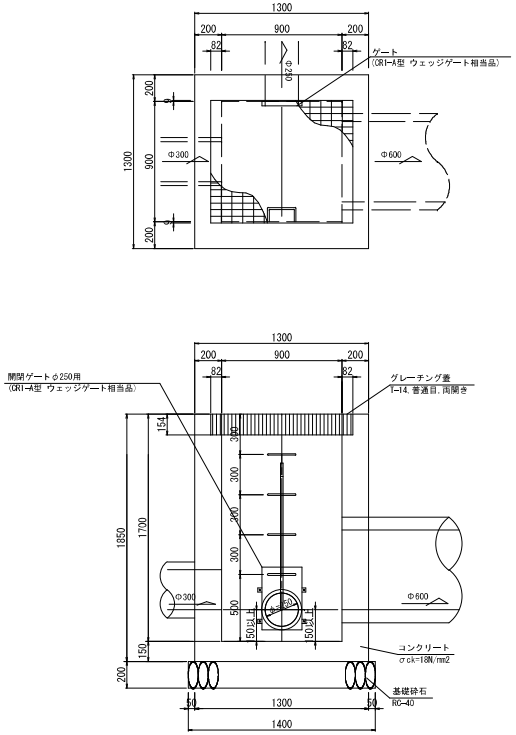


※桝天端は路面勾配に合わせ、Hは平均高である。

数量表(1号集水桝) 1箇所当り

種別	規格・寸法	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.304
型枠	小型	m2	3.690
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m2 m3	0.810 0.122
グレーチング蓋	T-14	枚	1.000

2号集水桝
G-B900-L900-H1700(T-14) S=1:20

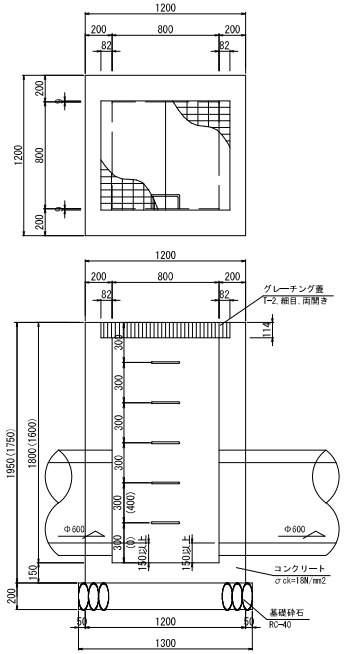


数量表(2号集水桝) 1箇所当り

種別	規格・寸法	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.643
型枠	小型	m2	15.715
基礎砕石	C-40又はRC-40 t=20cm	m2 m3	1.960 0.392
グレーチング蓋	T-14	式	1.000
足掛金具	D13mm 錆止塗装	ヶ	4.000
ゲート	Φ250用	式	1.000

3号集水桝
G-B800-L800-H1800(T-2) S=1:20

4号集水桝
G-B800-L800-H1600(T-2) S=1:20



※桝天端は路面勾配に合わせ、Hは平均高である。
※T-2荷重であるが、製品の都合上、T-6荷重とする。

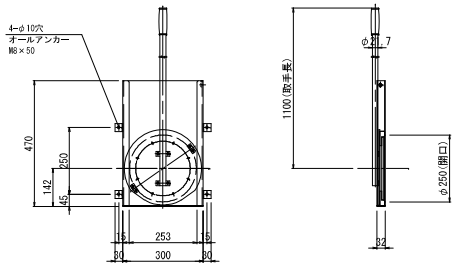
数量表(3号集水桝) 1箇所当り

種別	規格・寸法	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.510
型枠	小型	m2	14.469
基礎砕石	C-40又はRC-40 t=20cm	m2 m3	1.690 0.338
グレーチング蓋	T-2	式	1.000
足掛金具	D13mm 錆止塗装	ヶ	5.000

数量表(4号集水桝) 1箇所当り

種別	規格・寸法	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.350
型枠	小型	m2	12.869
基礎砕石	C-40又はRC-40 t=20cm	m2 m3	1.690 0.338
グレーチング蓋	T-2	式	1.000
足掛金具	D13mm 錆止塗装	ヶ	4.000

(参考図)CR1-A型 ウェッジゲート相当品
S=1:10



A3印刷時50%縮小

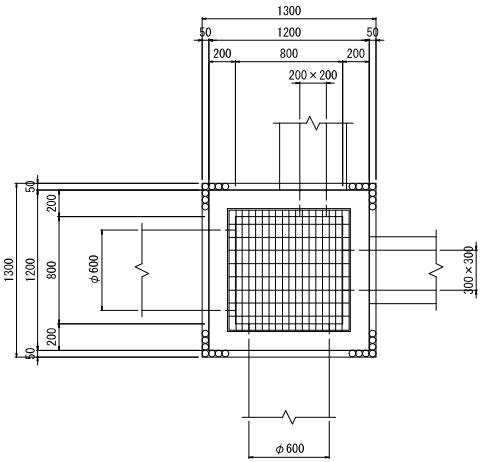
令和6年度 街路整備事業
丸山楢原線道路改良工事

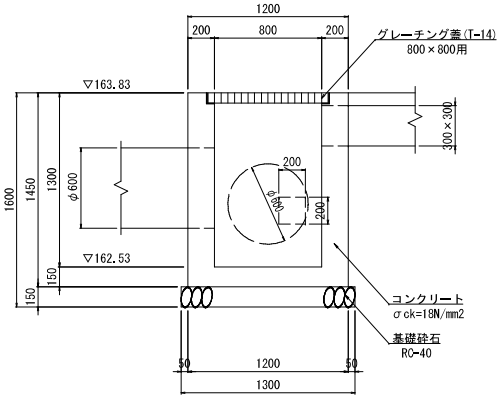
種別	構造図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No 計
路線名			

東広島市都市交通部都市整備課

構造図(4)

5号集水桝
S=1:20

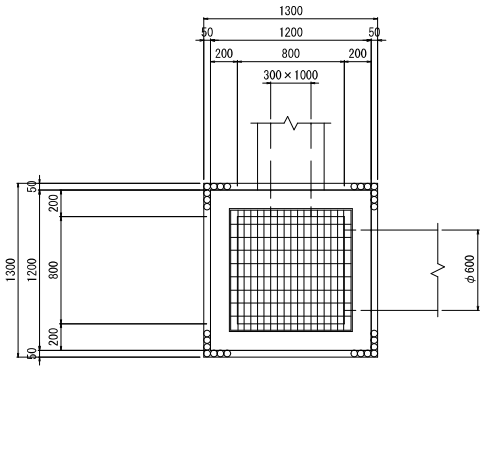


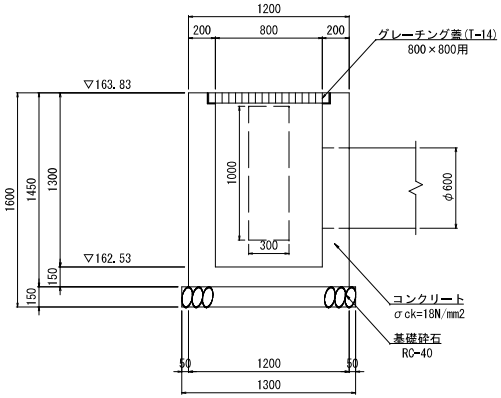


数量表(5号集水桝) 1箇所当り

種別	規格・寸法	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.143
型枠	小型	m2	10.469
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m2 m3	1.690 0.254
グレーチング蓋	T-14	枚	1.000

6号集水桝
S=1:20

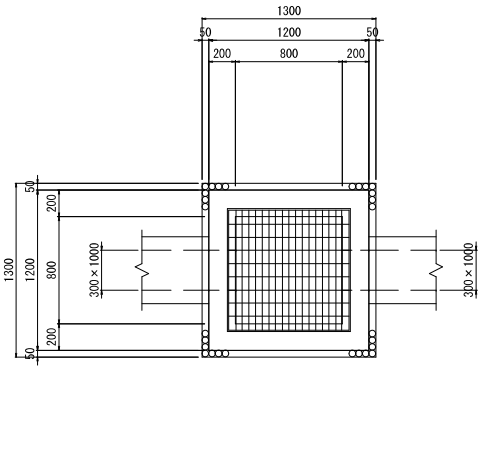


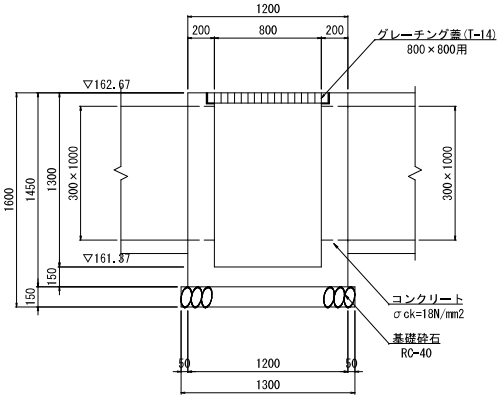


数量表(6号集水桝) 1箇所当り

種別	規格・寸法	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.139
型枠	小型	m2	11.035
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m2 m3	1.690 0.254
グレーチング蓋	T-14	枚	1.000

7号集水桝
S=1:20

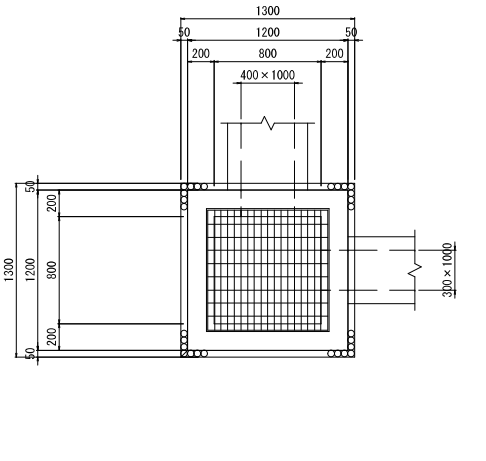


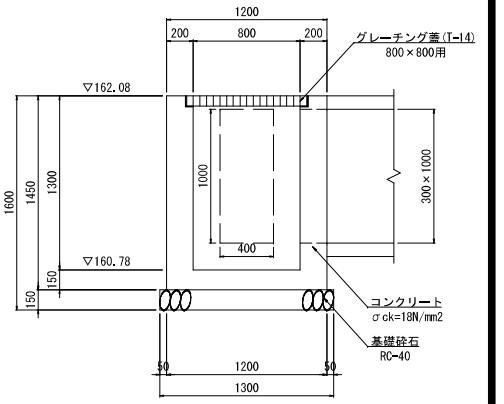


数量表(7号集水桝) 1箇所当り

種別	規格・寸法	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.121
型枠	小型	m2	11.480
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m2 m3	1.690 0.254
グレーチング蓋	T-14	枚	1.000

8号集水桝
S=1:20





数量表(8号集水桝) 1箇所当り

種別	規格・寸法	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.101
型枠	小型	m2	10.200
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m2 m3	1.690 0.254
グレーチング蓋	T-14	枚	1.000

A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業
丸山櫛原線道路改良工事

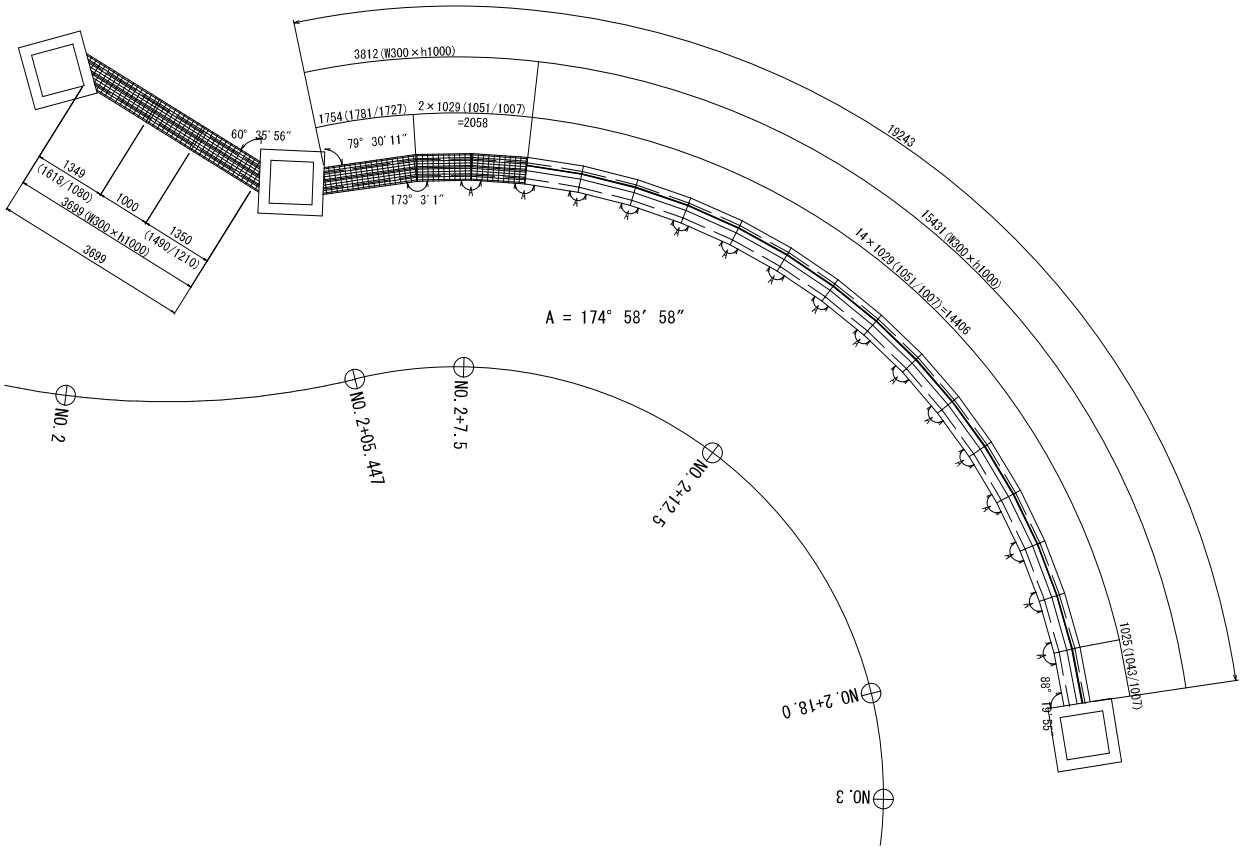
種別	構造図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町櫛原	図番	No 計
路線名			

東広島市都市交通部都市整備課

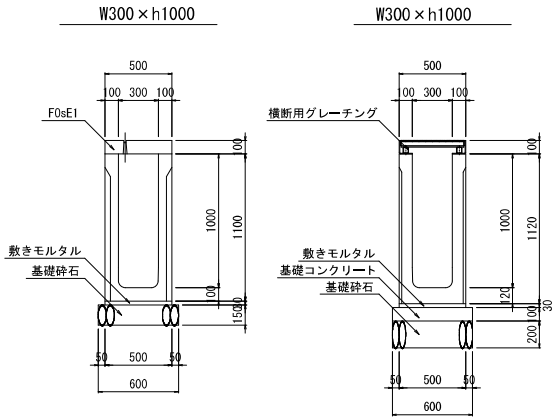
構造図(5)

(2号U型側溝設置図)

平面図 S=1：50



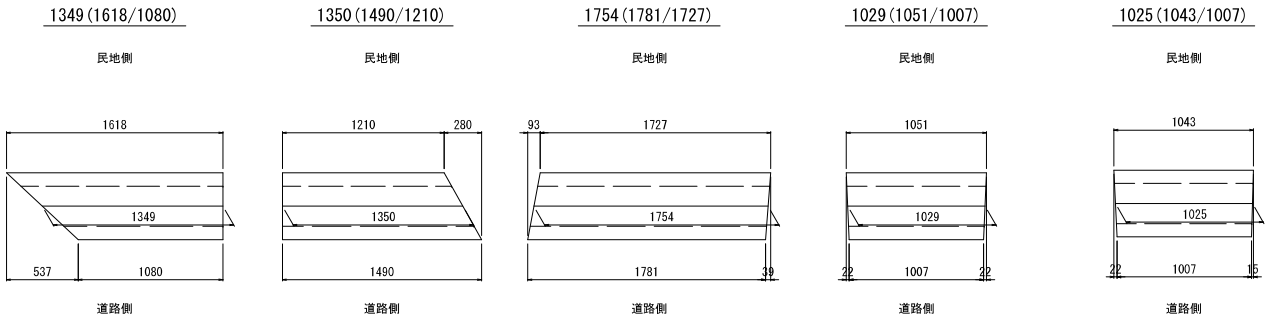
標準断面図 S=1：20



数量表

名称	サイズ	規格	数量	単位	備　考	参考重量
側溝	W300 × h1000	L = 1029(1051/1007)	14	個	両斜切	
		L = 1025(1043/1007)	1	個	両斜切	
側溝	W300 × h1000	L = 1000	1	個	短品	
		L = 1349(1618/1080)	1	個	片斜切	
		L = 1350(1490/1210)	1	個	片斜切	
		L = 1029(1051/1007)	2	個	両斜切	
		L = 1754(1781/1727)	1	個	両斜切	
コンクリート蓋	B300	L = 1029(1051/1007)	14	枚	両斜切	
		L = 1025(1043/1007)	1	枚	両斜切	
横断用グレーチング蓋	B300	L = 1029(1051/1007)	1	枚		
		L = 1754(1781/1727)	1	枚	短品	
		L = 1350(1490/1210)	1	枚	片斜切	
		L = 1000	1	枚	片斜切	
		L = 1349(1618/1080)	1	枚	片斜切	

斜切製品図 S=1：20



A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業
丸山櫛原線道路改良工事

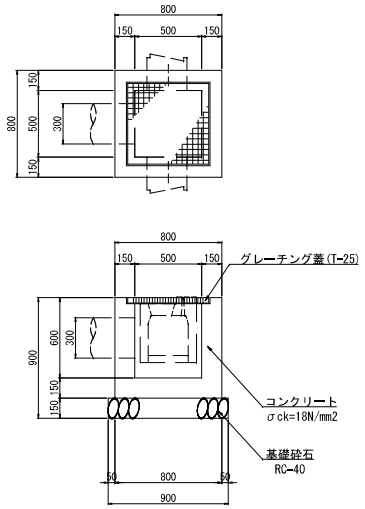
種別	構　造　図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町櫛原	図番	No.
路線名			計

東広島市都市交通部都市整備課

構造図(6)

2号街渠桝

S=1:20

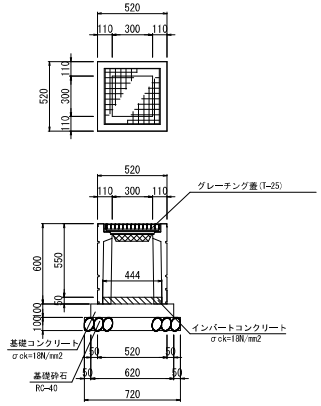


数量表(3号街渠桝) 1箇所当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.324
型　枠	小　型	m2	3.900
基礎砕石	RC-40	m2	0.810
	t=15cm	m3	0.122
グレーチング蓋	T-14	式	1.000

9号集水桝

(落ちふた式U型側溝桝) S=1:20

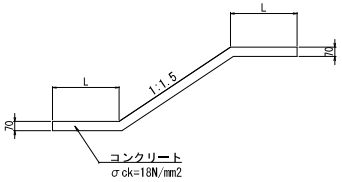


数量表 1箇所当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量
集水桝	落ちふた式U型側溝桝	個	1.000
インバート	18N/mm2	m3	0.010
基礎コンクリート	18N/mm2	m3	0.038
基礎コン型枠	均し	m2	0.248
基礎砕石	RC-40　t=10cm	m2	0.518
		m3	0.052
グレーチング蓋	T-25, 普通目	式	1.000

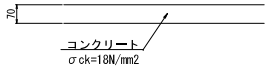
防草対策工

S=1:20



張りコンクリート

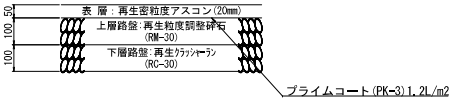
S=1:10



車道舗装

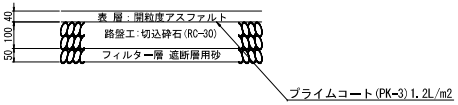
S=1:10

N3 40以上100台未満:CBR=8%



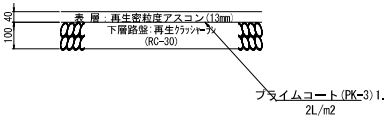
歩道舗装

S=1:10



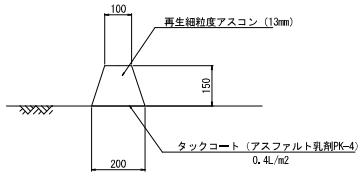
摺付、迂回路舗装

S=1:10



アスカーブ

S=1:10



数量表(アスカーブ) 1箇所当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量
細粒度アスコン	13mm	m3	0.225
タックコート	PK-4	m2	2.000

A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業
丸山櫛原線道路改良工事

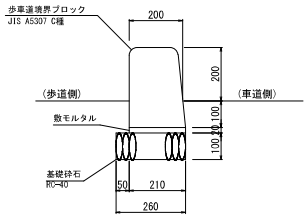
種別	構　造　図	縮尺	図　示
工事箇所	東広島市黒瀬町櫛原	図番	No
路線名			計

東広島市都市交通部都市整備課

構造図(7)

歩車道境界ブロック

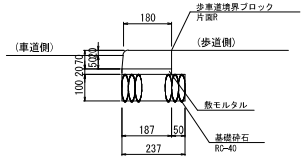
縁 石 工
（一般部） S=1:10



数量表 10m当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量
歩車道境界ブロック	C種　両面	m	10.000
基礎砕石	RC-40　t=10cm	m2	2.600
		m3	0.260
敷モルタル	1：3	m3	0.042

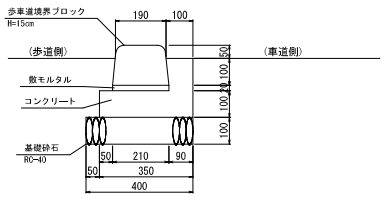
縁 石 工
（切下部） S=1:10



数量表 10m当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量
歩車道境界ブロック	出入口 片面	m	10.000
基礎砕石	RC-40　t=10cm	m2	2.370
		m3	0.237
敷モルタル	1：3	m3	0.037

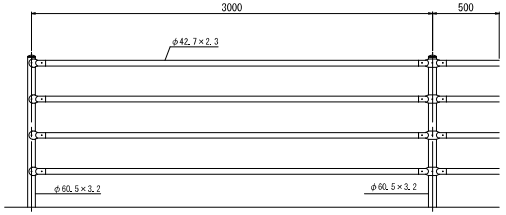
縁 石 工
（乗入部） S=1:10



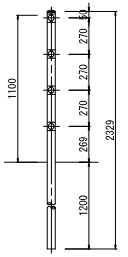
数量表 10m当り

種　別	規格・寸法	単位	数　量
歩車道境界ブロック	出入口 両面	m	10.000
基礎砕石	RC-40　t=10cm	m2	4.000
		m3	0.400
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.463
型　枠	無筋構造物	m2	3.200
敷モルタル	1：3	m3	0.042

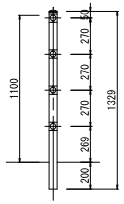
転落防止柵
S=1:20



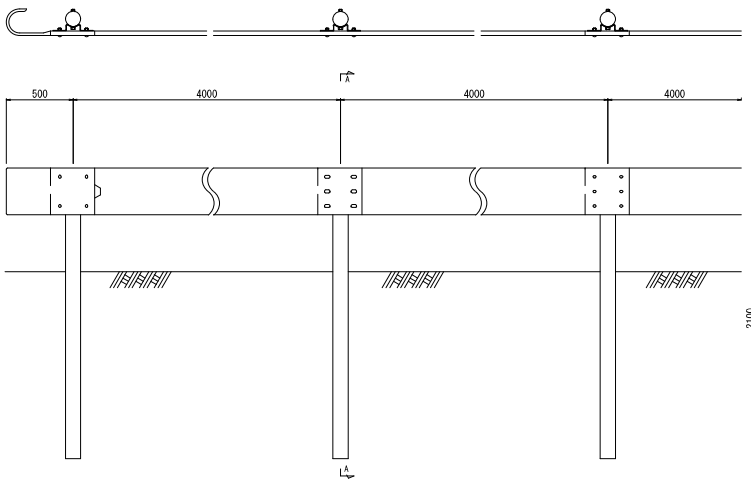
土中用



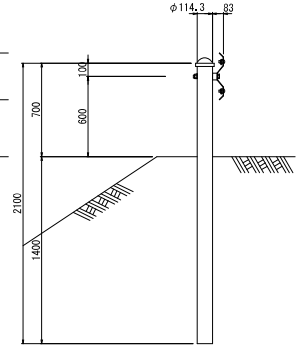
構造物用



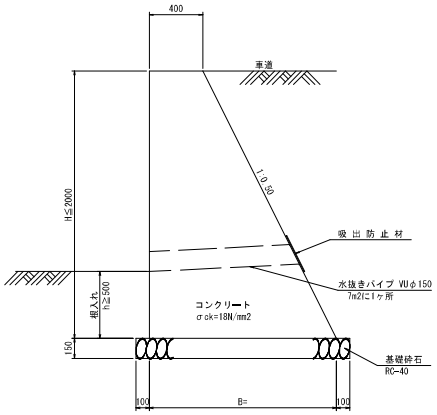
Gr-C-4E
（土中建込用） S=1:20



A-A断面



GW15
S=1：20



A3印刷時50%縮小

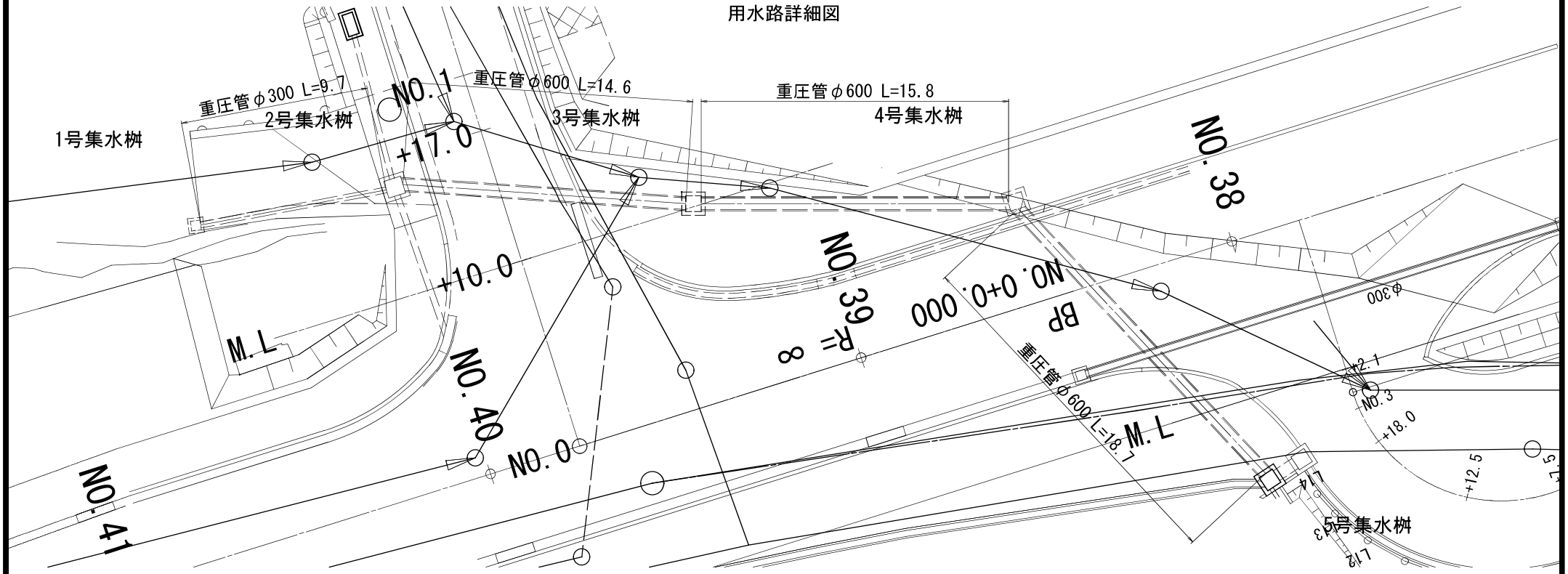
令和6年度 街路整備事業
丸山櫛原線道路改良工事

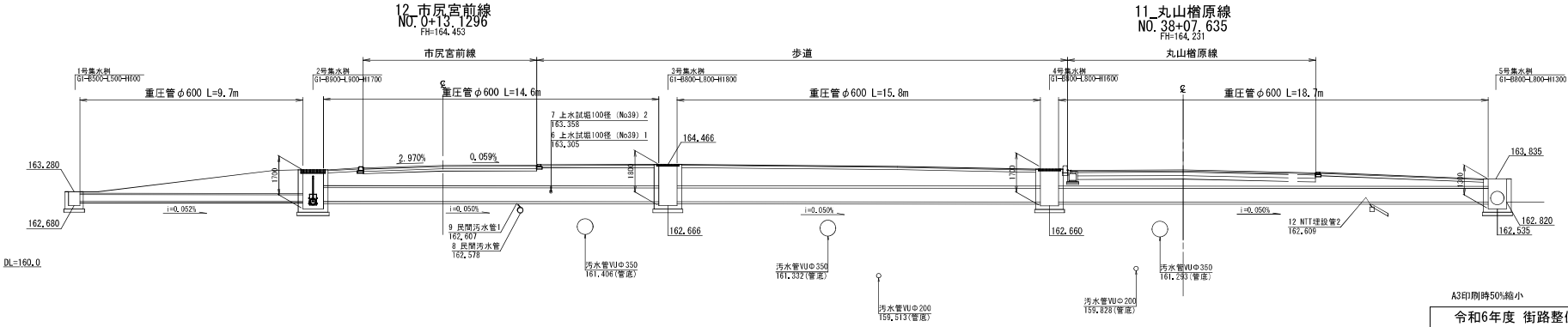
種別	構　造　図	縮尺	図　示
工事箇所	東広島市黒瀬町櫛原	図番	No
路線名			計

東広島市都市交通部都市整備課

構造図(8)

用水路詳細図





A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業 丸山楢原線道路改良工事			
種別	用水路詳細図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No 計
路線名			
東広島市都市交通部都市整備課			

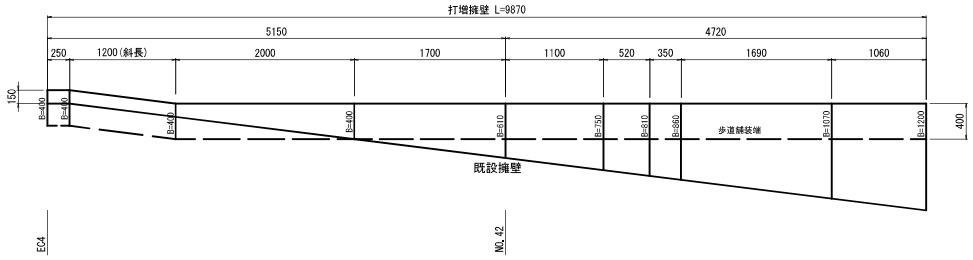
構造図(9)

打増擁壁構造図

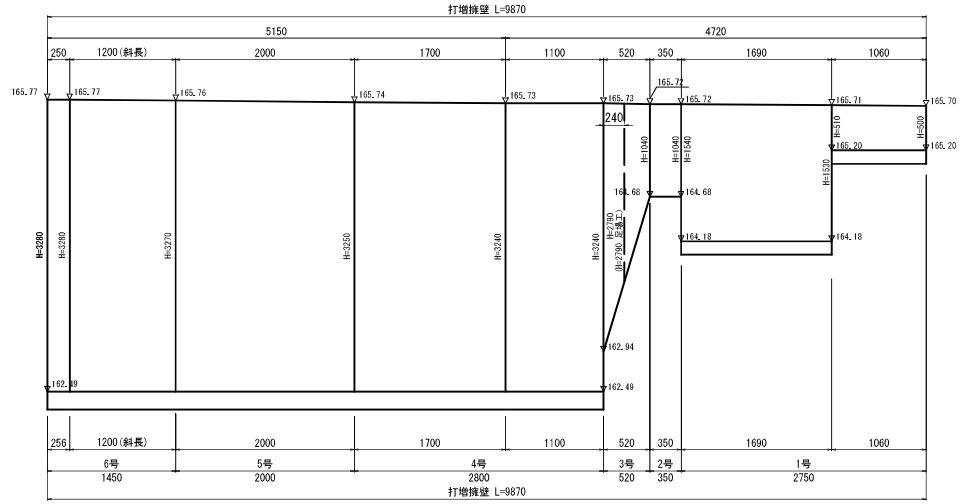
展開図

縮尺=1:30

平面図

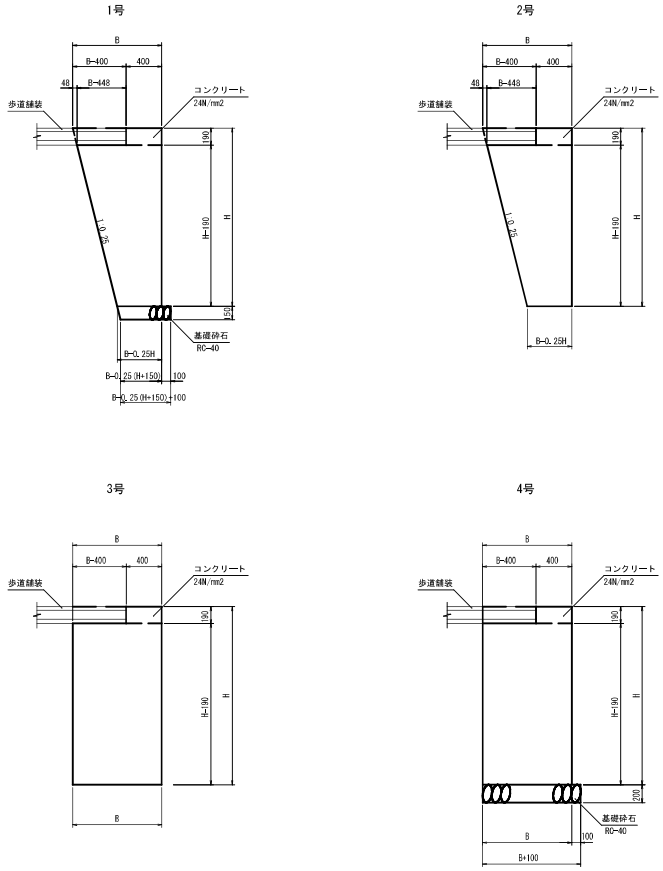


縦断図



断面図

縮尺=1:30



		1号				2号		3号	
天端幅 B		1200	1070	1070	860	860	810	810	750
擁壁高 H		500	510	1530	1540	1040	1040	1040	2790
コンクリート	m3	0.42	0.39	1.22	0.95	0.68	0.63	0.76	2.03
型　　枠	m2	0.69	0.70	1.72	1.73	1.23	1.23	1.23	2.98
基礎砕石(t=150mm)	m2	1.16	1.02	0.77	0.56	—	—	—	—
基礎砕石(t=200mm)	m2	—	—	—	—	—	—	—	—

		4号			5号		6号	
天端幅 B		750	610	400	400	400	400	400
擁壁高 H		3240	3240	3250	3250	3270	3270	3280
コンクリート	m3	2.36	1.94	1.30	1.30	0.54	0.54	0.54
型　　枠	m2	3.43	3.43	3.44	3.44	3.46	3.46	3.47
基礎砕石(t=200mm)	m2	—	—	—	—	—	—	—
基礎砕石(t=200mm)	m2	0.85	0.71	0.50	0.50	0.25	0.25	0.25

A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業
丸山楢原線道路改良工事

種別	打増構造図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町楢原	図番	No
路線名			計

東広島市都市交通部都市整備課

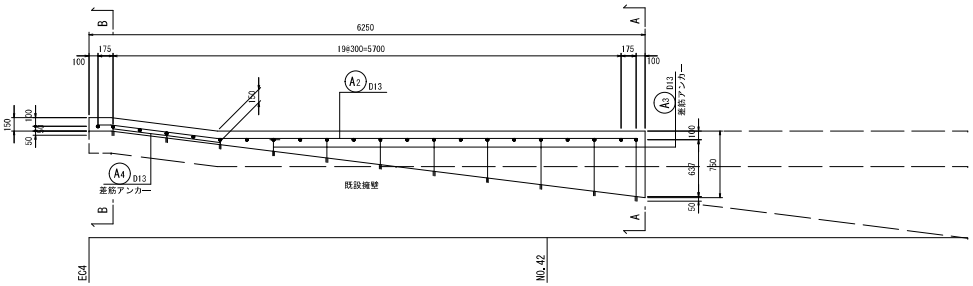
構造図(10)

打増擁壁配筋図

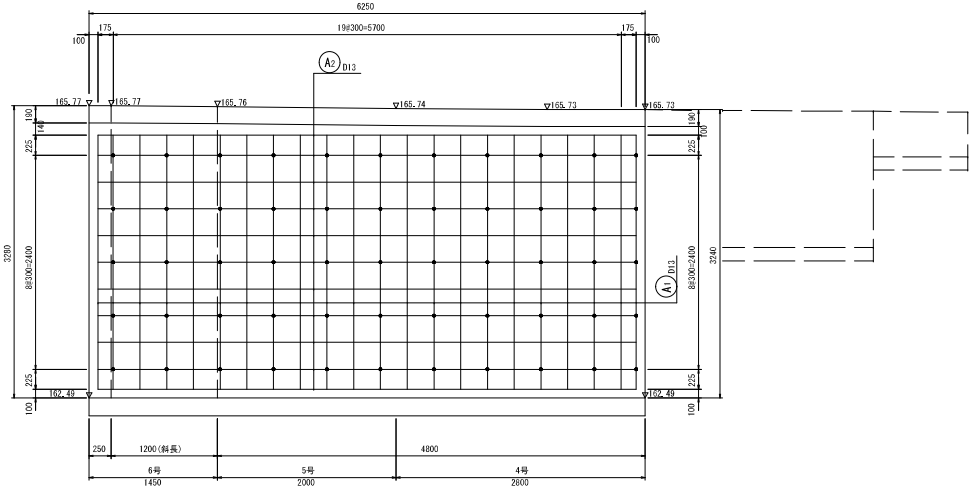
展開図

縮尺=1:30

平面図



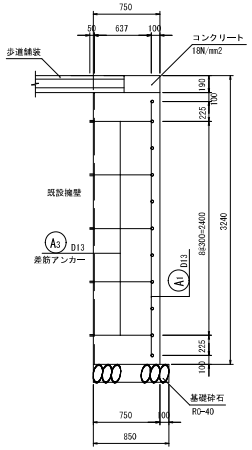
縦断図



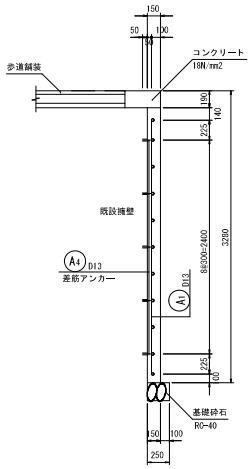
断面図

縮尺=1:30

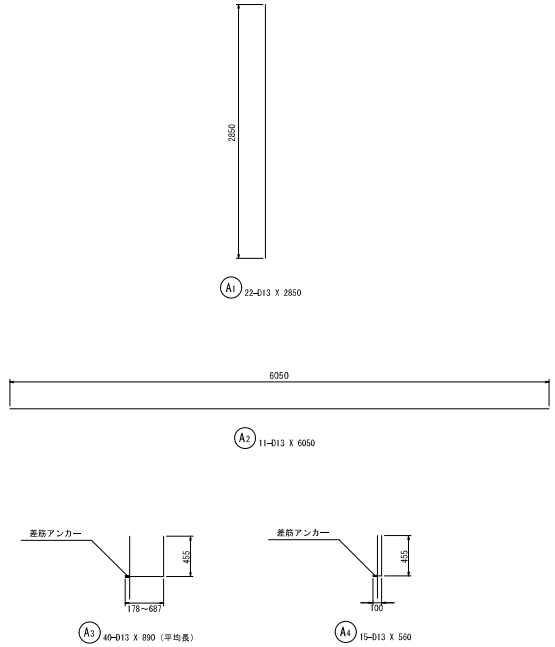
A — A



B — B



鉄筋加工図



鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
A1	D13	2850	22	0.995	2.836	62.392	
A2	D13	6050	11	0.995	6.020	66.220	
A3	D13	890	40	0.995	0.886	35.440	(平均長)
A4	D13	560	15	0.995	0.557	8.355	
						172.407	
合計 D13						172.407 kg	
総質量						172.407 kg	
コンクリート削孔(M12対応径 L=50mm)						55孔	
差筋アンカー(金属拡張式M12(D13用))						55本	
水抜管(φ75mm 平均L=380mm N=9本)						3.4m	

A3印刷時50%縮小

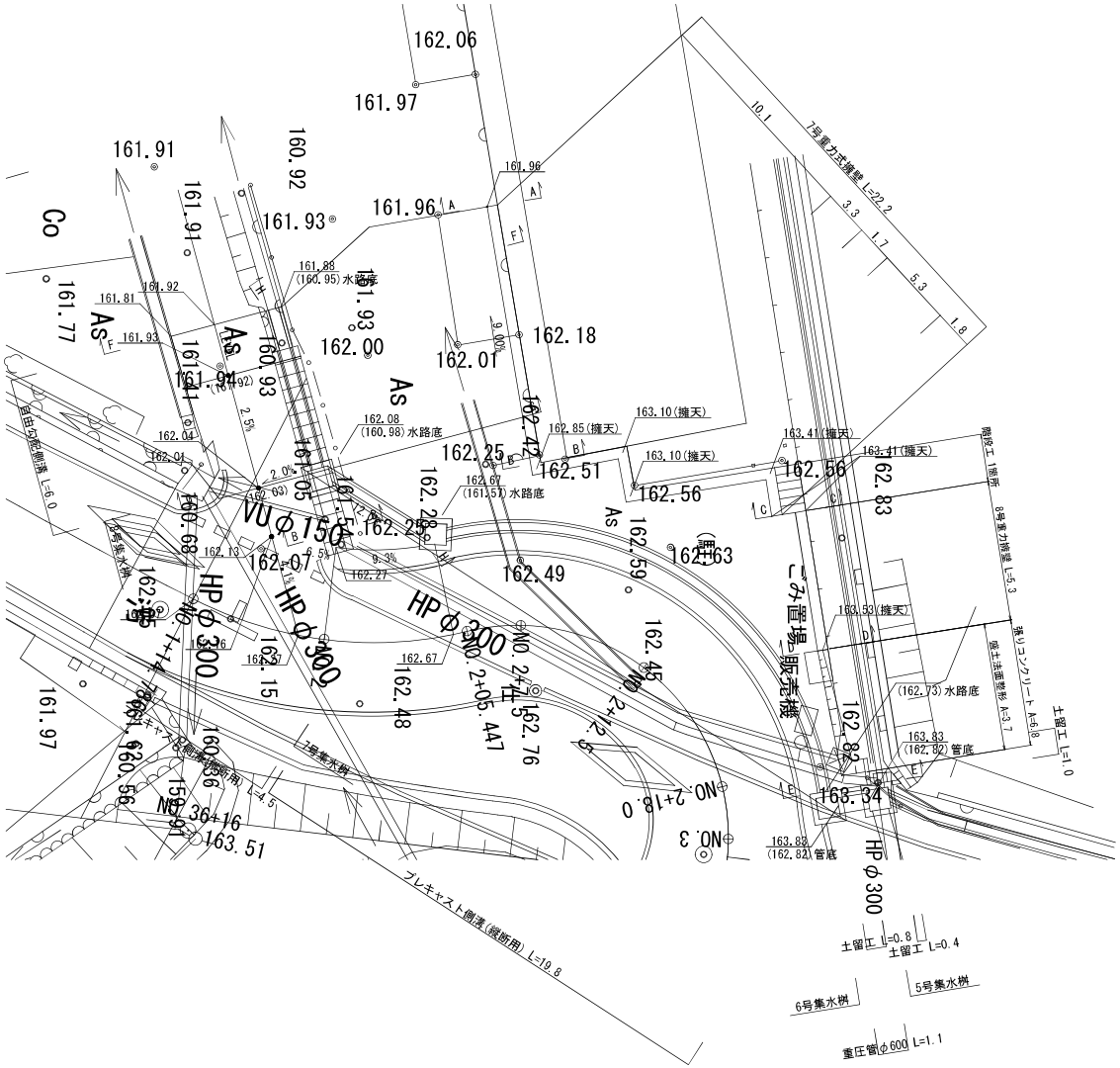
令和6年度 街路整備事業
丸山櫛原線道路改良工事

種別	打増擁壁配筋図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町櫛原	図番	No 計
路線名			

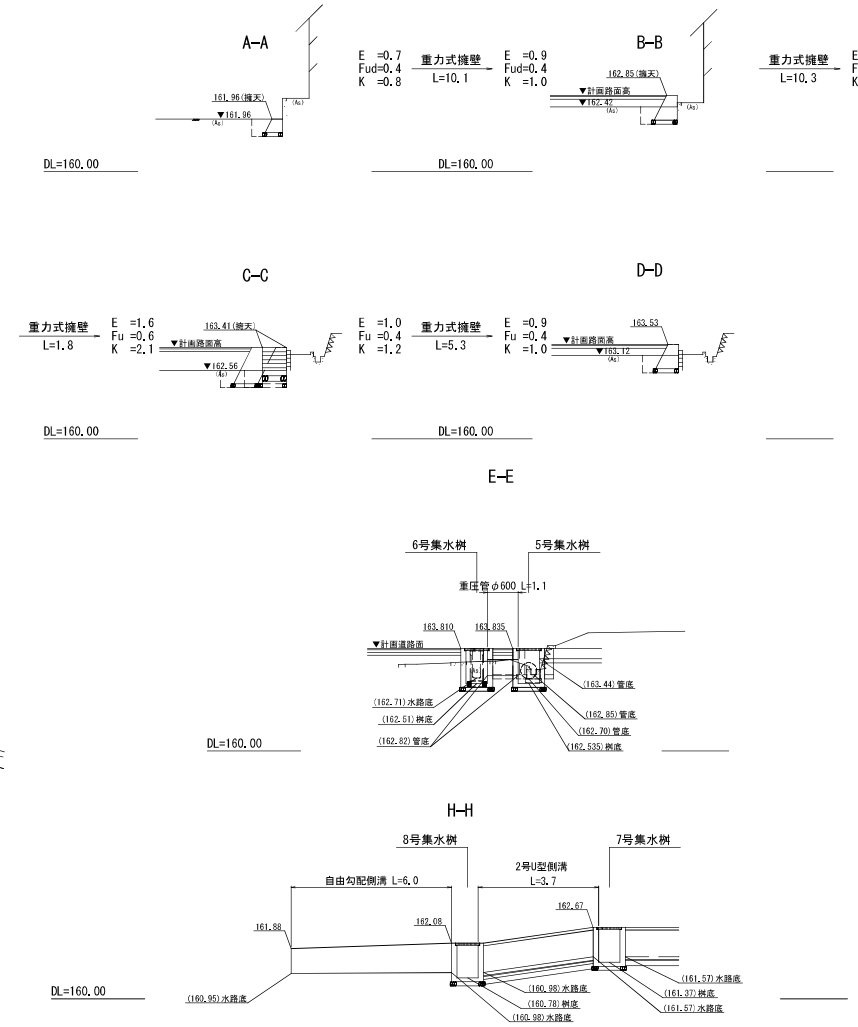
東広島市都市交通部都市整備課

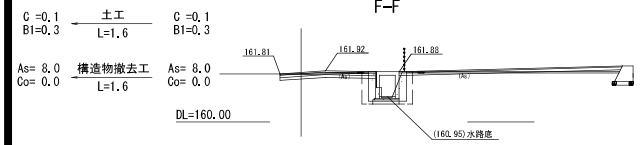
構造図(11)
擁壁工詳細図

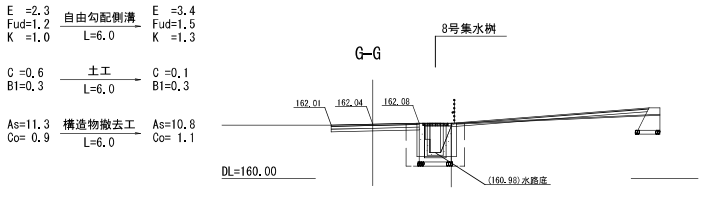
平 面 図
S=1:100



横 断 図
S=1:100







A3印刷時50%縮小

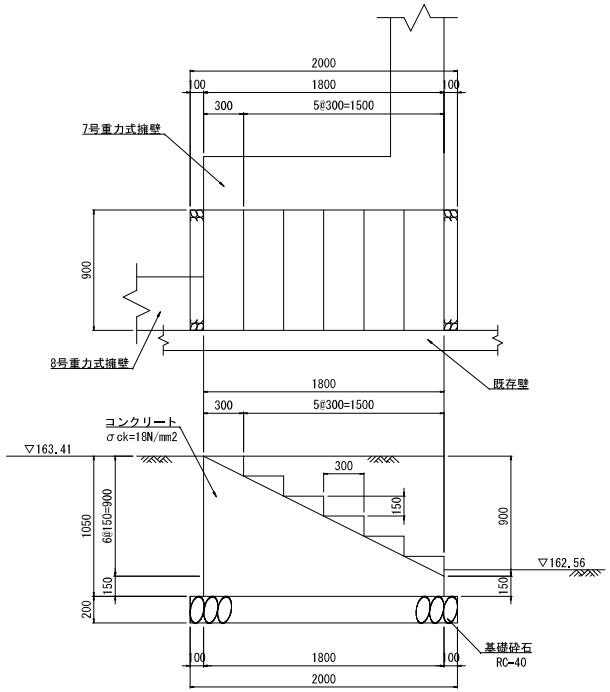
令和6年度 街路整備事業 丸山櫛原線道路改良工事			
種 別	擁壁工詳細図	縮尺	図 示
工事箇所	東広島市黒瀬町櫛原	図番	No 計
路線名			
東広島市都市交通部都市整備課			

構造図(12)

擁壁工

階段工

S=1:20

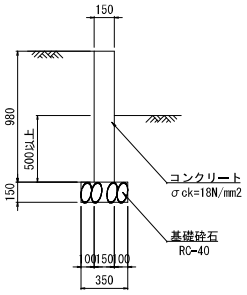


数量表　　1箇所当り

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.094
型枠		m2	3.240
基礎砕石	RC-40 t=200mm	m2	1.620

土留工

S=1:20

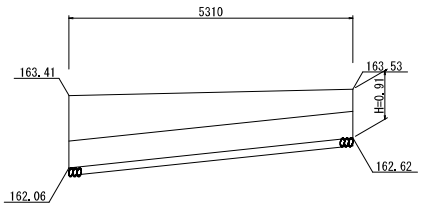


数量表　　10m当り

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.470
型枠		m2	19.60
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m2	3.500

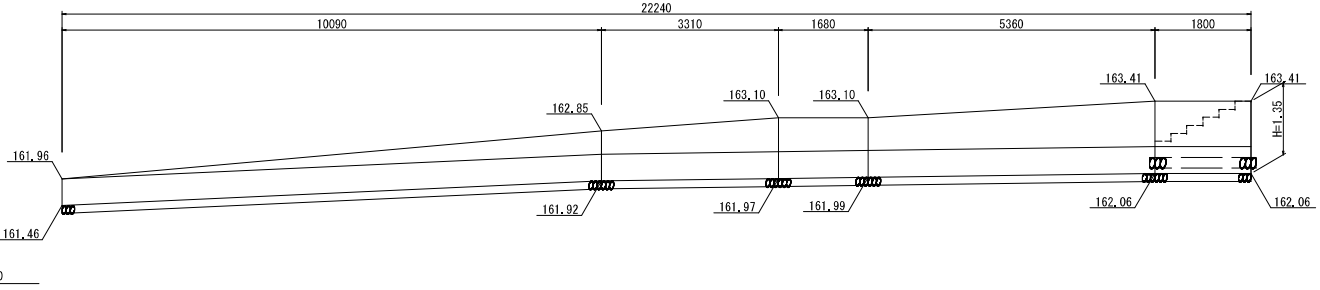
GW15　S=1:50

天端幅=400 全面勾配=1:0.5



GW15　S=1:50

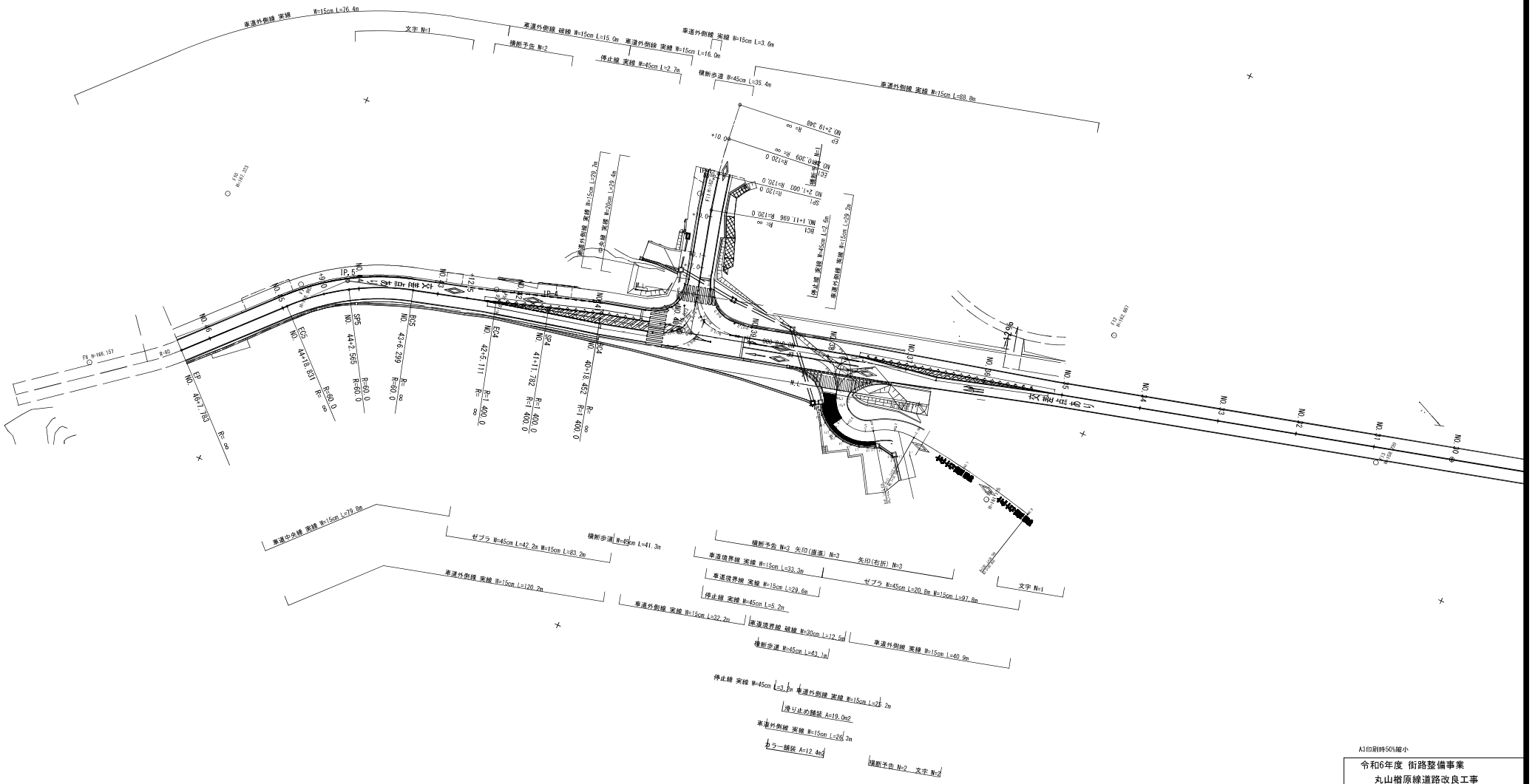
天端幅=400 全面勾配=1:0.5



A3印刷時50%縮小

令和6年度 街路整備事業 丸山櫛原線道路改良工事			
種別	擁壁工	縮尺	図示
工事箇所	東広島市黒瀬町櫛原	図番	No 計
路線名			
東広島市都市交通部都市整備課			

区画線工平面図 S=1:500


車道外側線 実線 W=15cm L=76.4m
文字 N=1
横断予告 N=2
車道外側線 破線 W=15cm L=15.0m
車道外側線 実線 W=15cm L=16.0m
車道外側線 実線 W=15cm L=3.6m
停止線 実線 W=45cm L=2.7m
横断歩道 W=45cm L=35.4m
車道外側線 実線 W=15cm L=68.8m
車道外側線 実線 W=15cm L=79.8m
ゼブラ W=45cm L=42.2m W=15cm L=83.2m
横断歩道 W=45cm L=41.3m
車道境界線 実線 W=15cm L=33.3m
横断予告 N=3 矢印(直進) N=3
矢印(右折) N=3
ゼブラ W=45cm L=20.8m W=15cm L=97.6m
車道境界線 実線 W=15cm L=29.6m
停止線 実線 W=45cm L=5.2m
車道外側線 実線 W=15cm L=120.2m
車道外側線 実線 W=15cm L=32.2m
車道境界線 破線 W=30cm L=12.5m
車道外側線 実線 W=15cm L=40.9m
横断歩道 W=45cm L=43.1m
停止線 実線 W=45cm L=3.2m
車道外側線 実線 W=15cm L=28.2m
滑り止め舗装 A=19.0m2
車道外側線 実線 W=15cm L=28.3m
カラー舗装 A=12.4m2
横断予告 N=2 文字 N=2
文字 N=1
車道外側線 実線 W=15cm L=68.8m
車道外側線 実線 W=15cm L=29.2m
停止線 実線 W=45cm L=2.6m
車道外側線 実線 W=15cm L=29.4m
車道外側線 実線 W=15cm L=29.7m
横断歩道 W=45cm L=44.1m
車道外側線 実線 W=15cm L=29.2m
車道外側線 実線 W=15cm L=29.3m
車道外側線 実線 W=15cm L=29.4m
車道外側線 実線 W=15cm L=29.5m
車道外側線 実線 W=15cm L=29.6m
車道外側線 実線 W=15cm L=29.7m
車道外側線 実線 W=15cm L=29.8m
車道外側線 実線 W=15cm L=29.9m
車道外側線 実線 W=15cm L=30.0m
車道外側線 実線 W=15cm L=30.1m
車道外側線 実線 W=15cm